

建築基準法第7条の2第5項の規定による  
検査済証

大東市長 東坂 浩一様

第 NK14-1014 号  
平成 26 年 11 月 29 日

指定確認検査機関

株式会社日本確認検査センター

代表取締役 磯野 幸夫



下記に係る工事は、建築基準法第7条の2第1項の規定による検査の結果、建築基準法第6条第1項(建築基準法第6条の3第1項の規定により、読み替えて適用される同法第6条第1項)の建築基準関係規定に適合していることを証明する。

## 記

1. 確認済証番号 第 NK14-1014 号
2. 確認済証交付年月日 平成26年11月25日
3. 確認済証交付者  
株式会社日本確認検査センター 代表取締役 磯野 幸夫
4. 建築場所、設置場所又は築造場所  
大阪府大東市曙町400-1
5. 検査を行った建築物、建築設備若しくは工作物又はその部分の概要  
建築物の用途： 集会場(市民会館)  
工事種別： 増築  
構造種別： SRC造 一部 S造  
  
建築物の階数： 地上階数 5階 地下階数 0階  
延べ面積 申請部分 560.246㎡  
申請以外の部分 5082.677㎡  
合計 5642.923㎡  
申請棟数 3棟
6. 検査後も引き続き建築基準法第3条第2項(同法第86条の9第1項において準用する場合を含む。)の規定の適用を受ける場合は、その根拠となる規定及び不適合の規定
7. 検査年月日 平成26年11月28日
8. 検査を行った確認検査員氏名 XXXXXXXXXX

(注意) この証は、大切に保存しておいてください。

NO COPY

建築基準法第7条の2第3項の規定による  
完了検査引受証

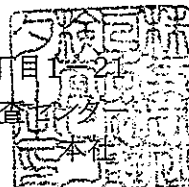
大東市長 東坂 浩一 様

第 NK14-1014 号  
平成 26 年 11 月 25 日

指定確認検査機関

大阪市中央区北浜3丁目1-21

株式会社日本確認検査センター



下記に係る工事について、建築基準法第7条の2第1項の規定による検査を引き受けた事を証明します。

記

1. 確認済証番号

第 NK14-1014 号

2. 確認済証交付年月日

平成26年11月25日

3. 確認済証交付者

株式会社日本確認検査センター 代表取締役 磯野 幸夫

4. 工事終了(予定)年月日

平成26年11月28日

5. 検査引受年月日

平成26年11月25日

6. 建築場所、設置場所又は築造場所

大阪府大東市曙町400-1

追加説明書(完了検査)

平成 26年 11月 29日

(株)日本確認検査センター  
代表取締役 磯野 幸夫 様

建築主(設計者)株式会社 建綜研

建築基準法第18条の3及び確認審査等に関する指針(平19年第835号)第3第4項第三号による追加説明書を下記のとおり提出します。

確認年月日	H26年11月25日	設計者 氏名等	1級建築士大臣登録第 号
確認番号	NK14-1014	工事監理者 氏名等	1級建築士大臣登録第 号
通知日	平成26年11月28日	工事施工者 氏名等	富田建設株式会社 富田泰富
申請者	株式会社 建綜研	追加説明書 を作成した 者の氏名等	株式会社 建綜研
建築場所	大東市曙町400-1		
指摘事項		報告内容	
駐輪所及びごみ置き場の位置の不整合		測定し、図面訂正しました。	

※別添がある場合は、その旨を本書に記載する。

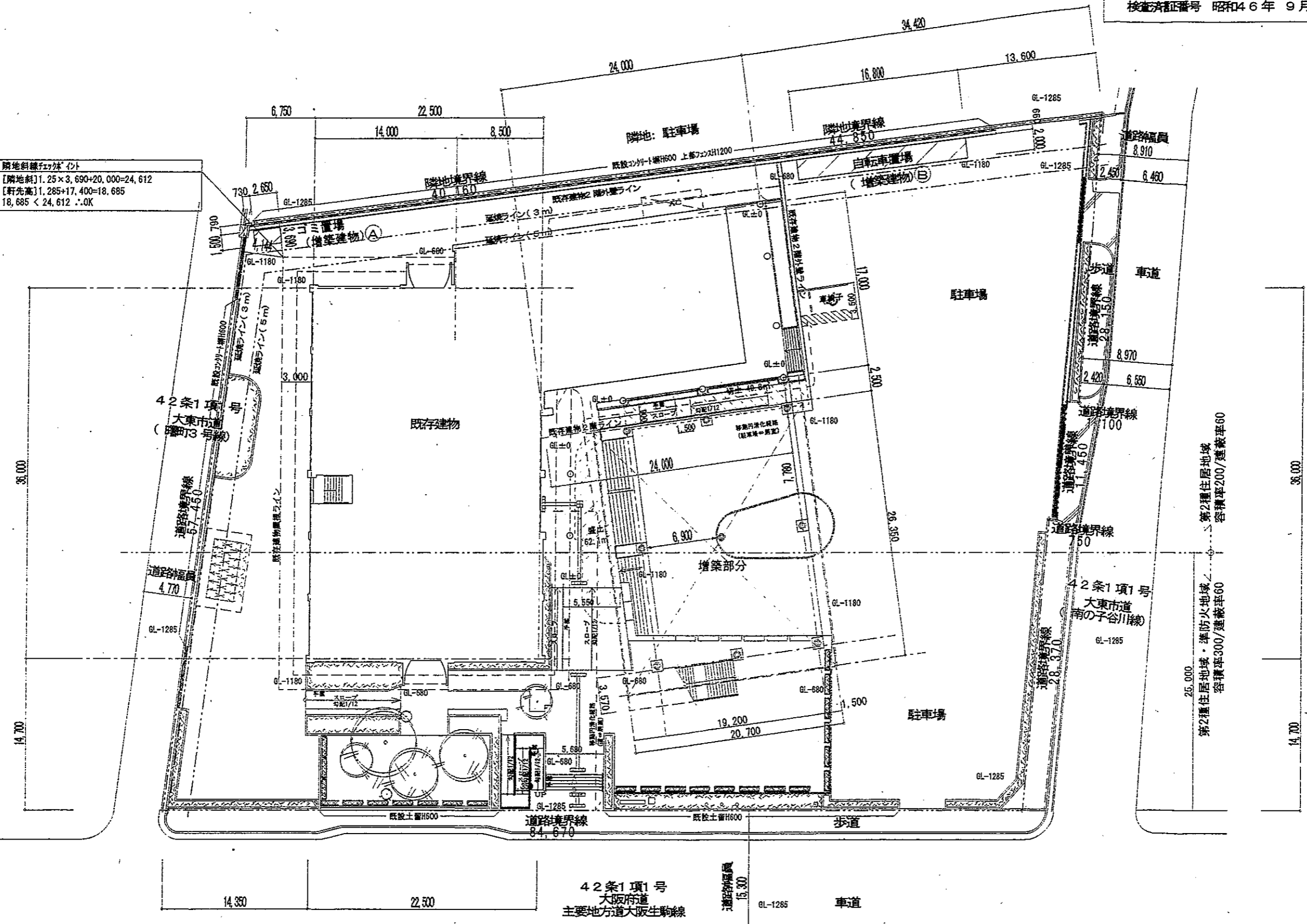
*受付欄	
平成	年 月 日
印	指定確認検査機関
26.11.29	



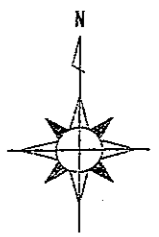
既存建物建築確認番号  
 ・新築時の建築確認番号  
 確認済証番号 昭45年 8月21日 第1-21240号  
 検査済証番号 昭46年 9月22日 第1522号

※道路斜線は天空率適用

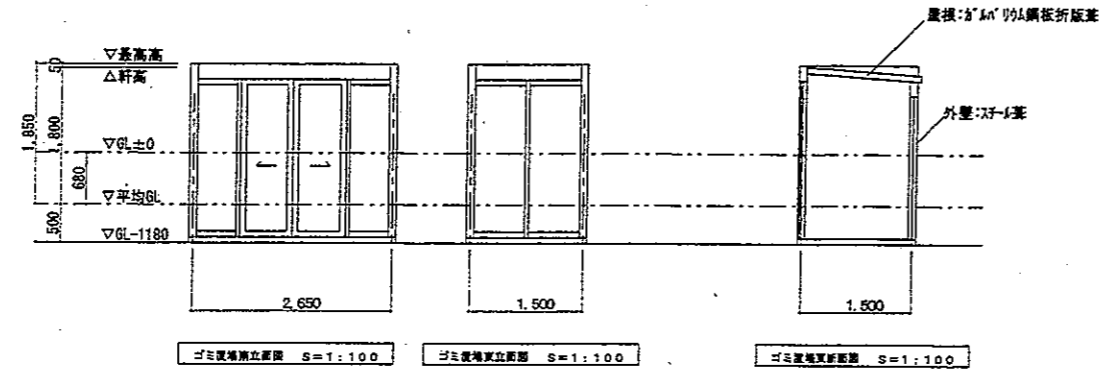
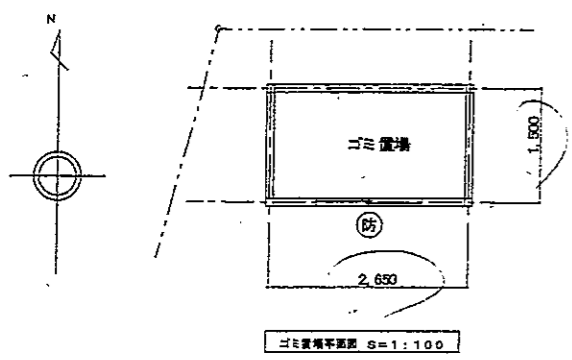
隣地斜線「マ」付  
 【隣地斜】1.25×3,690+20,000=24,612  
 【軒先高】1.285+17,400=18,685  
 18,685 < 24,612 ∴OK



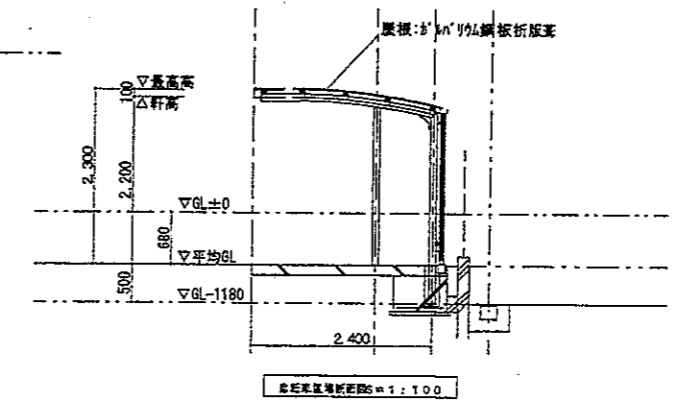
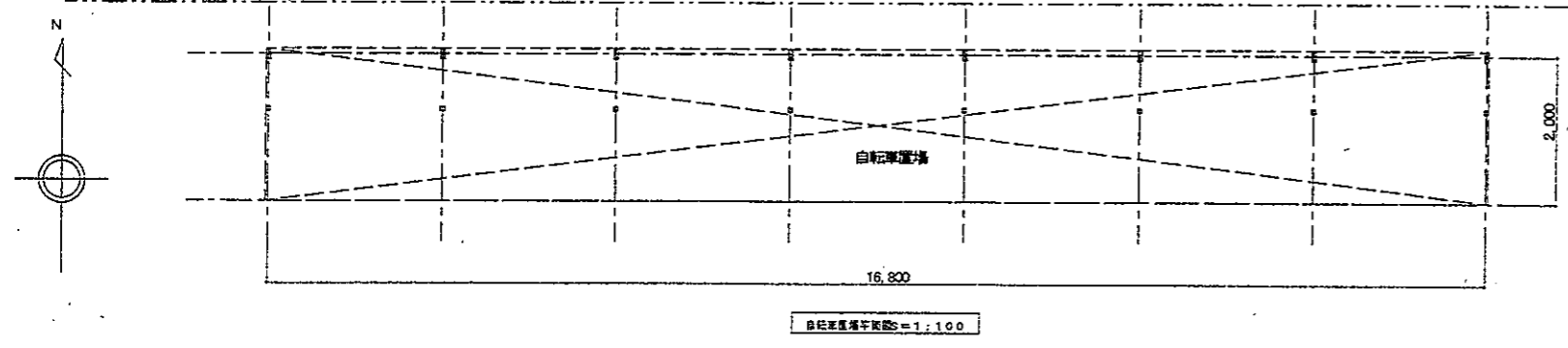
変更前



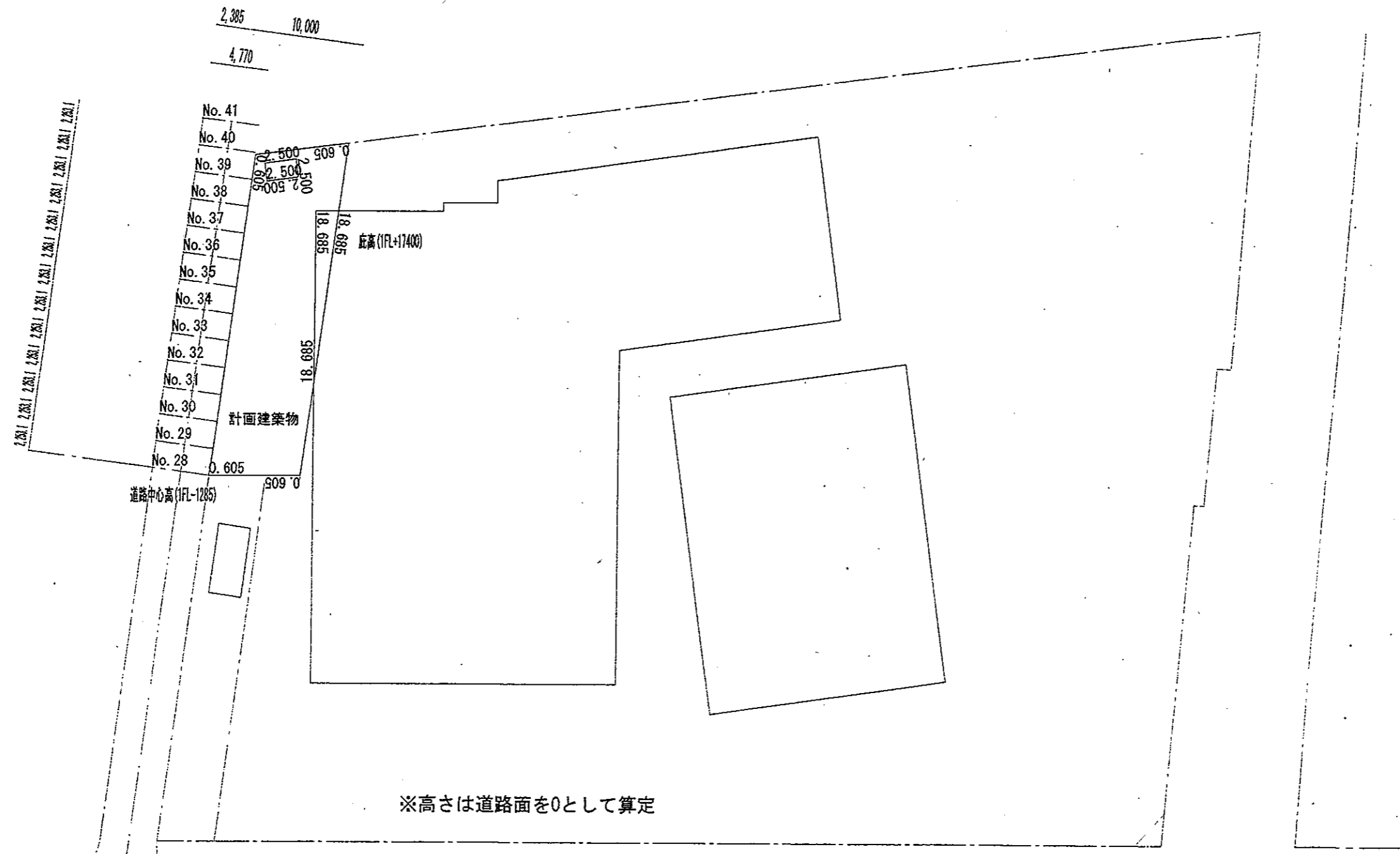
(増築建物) A



(増築建物) B

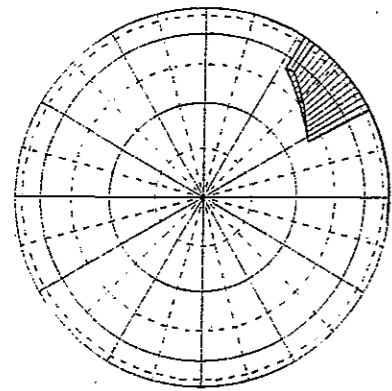


变更前

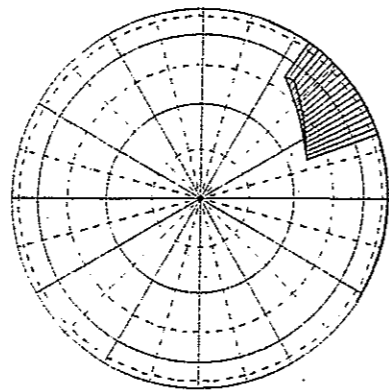


※高さは道路面を0として算定

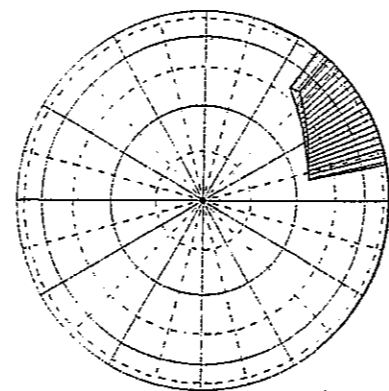
変更前



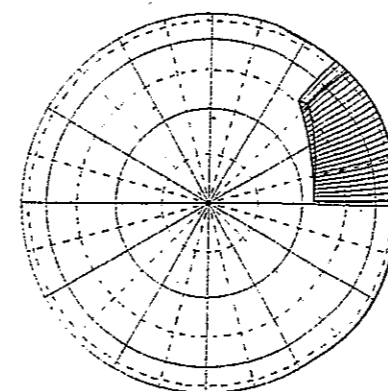
測定点 No. 28 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m  
 【水平円射影面積 1963.495 , 85.72791】  
 天空率 = 95.634 %



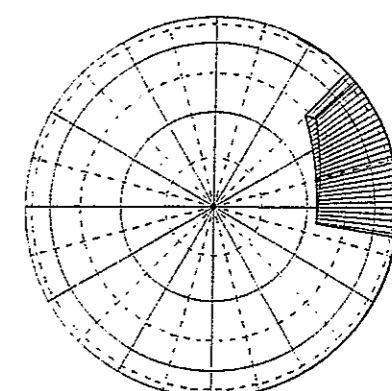
測定点 No. 29 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m  
 【水平円射影面積 1963.495 , 110.3839】  
 天空率 = 94.378 %



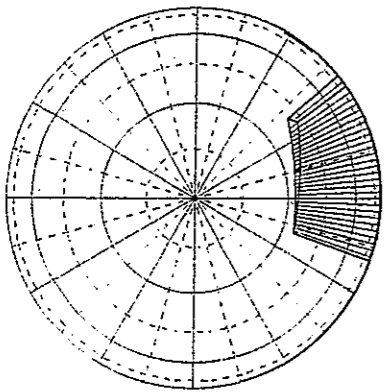
測定点 No. 30 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m  
 【水平円射影面積 1963.495 , 138.4754】  
 天空率 = 92.948 %



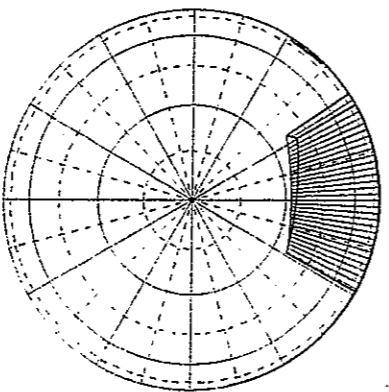
測定点 No. 31 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m  
 【水平円射影面積 1963.495 , 169.0512】  
 天空率 = 91.390 %



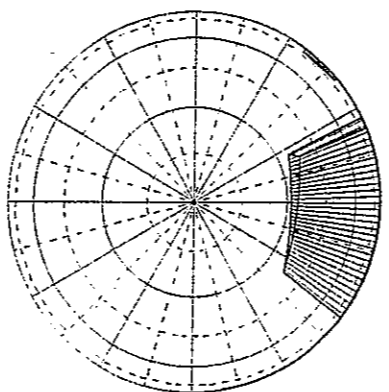
測定点 No. 32 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m  
 【水平円射影面積 1963.495 , 199.6125】  
 天空率 = 89.834 %



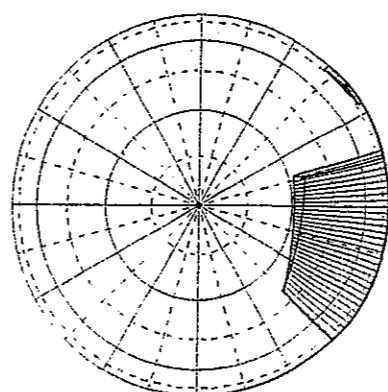
測定点 No. 33 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m  
 【水平円射影面積 1963.495 , 226.2216】  
 天空率 = 88.479 %



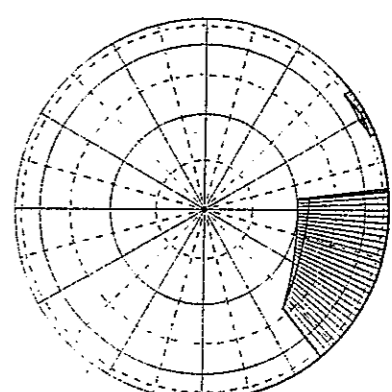
測定点 No. 34 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m  
 【水平円射影面積 1963.495 , 244.7094】  
 天空率 = 87.537 %



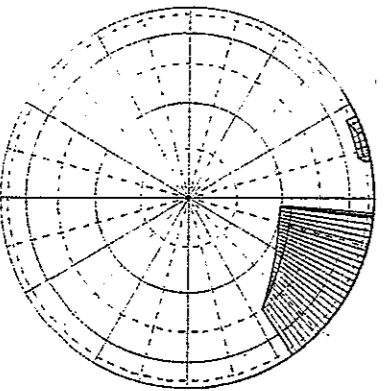
測定点 No. 35 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m  
 【水平円射影面積 1963.495 , 251.8328】  
 天空率 = 87.174 %



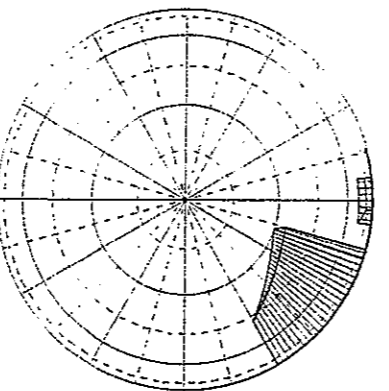
測定点 No. 36 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m  
 【水平円射影面積 1963.495 , 245.9536】  
 天空率 = 87.474 %



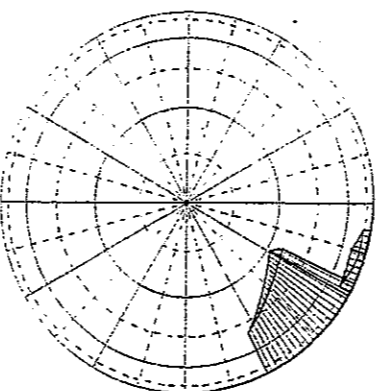
測定点 No. 37 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m  
 【水平円射影面積 1963.495 , 227.4474】  
 天空率 = 88.416 %



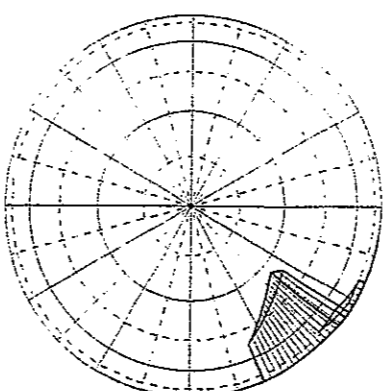
測定点 No. 38 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m  
 【水平円射影面積 1963.495 , 201.8115】  
 天空率 = 89.722 %



測定点 No. 39 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m  
 【水平円射影面積 1963.495 , 174.4582】  
 天空率 = 91.115 %



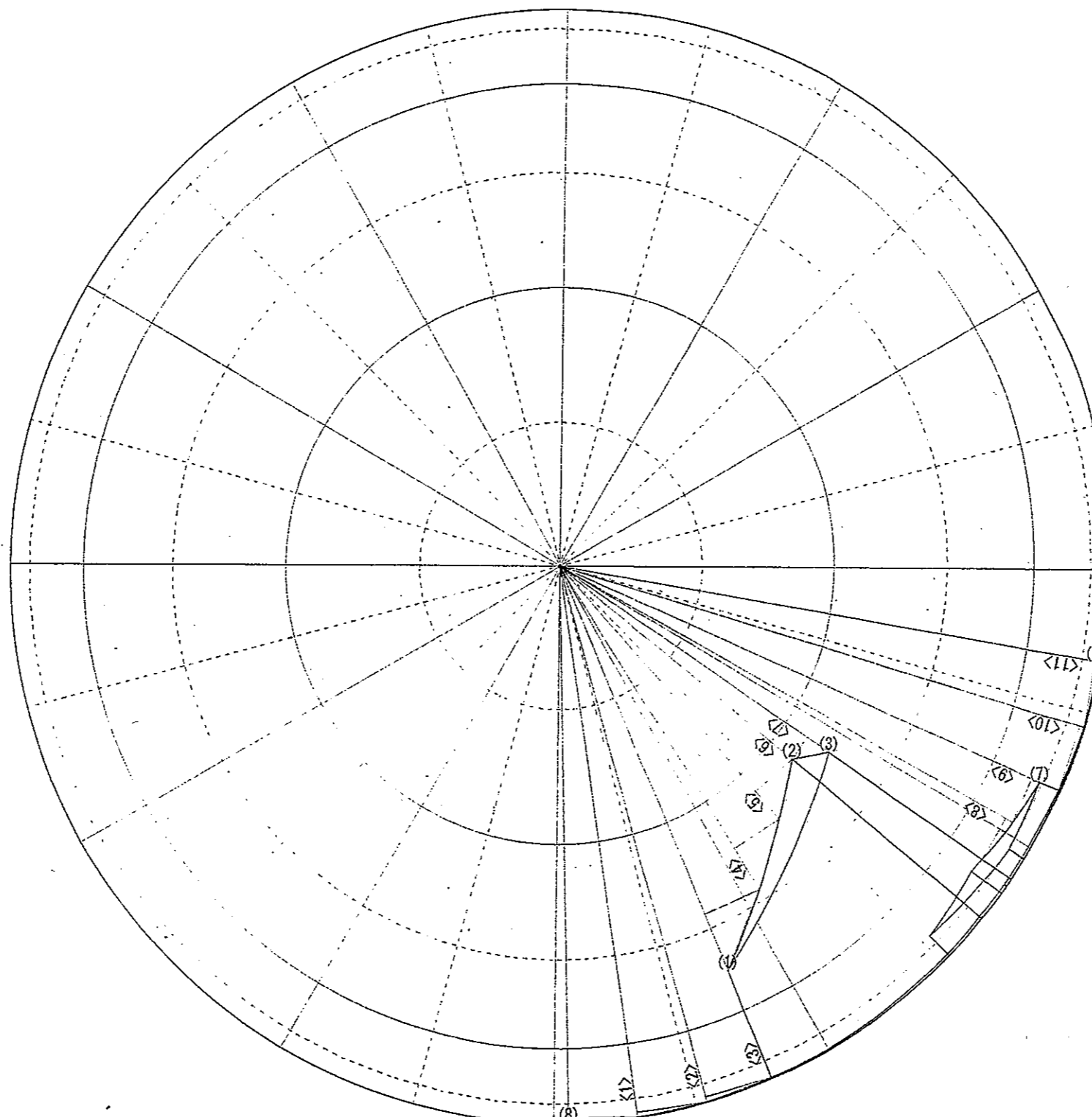
測定点 No. 40 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m  
 【水平円射影面積 1963.495 , 144.4571】  
 天空率 = 92.643 %



測定点 No. 41 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m  
 【水平円射影面積 1963.495 , 110.5622】  
 天空率 = 94.369 %

計画建築物

変更前



測定点 No. 41 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m  
 天空図半径 (R) = 100.000 (図寸mm)  
 《計画建物用》三斜計算 最大分割角 = 10°

三角形 No.	底辺 (mm)	高さ (mm)	面積 (mm <sup>2</sup> )
<1>	99.979	12.645	632.117
<2>	99.919	12.638	631.388
<3>	99.864	12.627	630.491
<4>	78.910	11.028	435.109
<5>	68.744	9.750	335.127
<6>	60.779	8.805	267.579
<7>	59.437	4.767	141.668
<8>	94.796	8.486	402.219
<9>	95.992	8.594	412.477
<10>	99.757	12.039	600.487
<11>	99.881	12.056	602.082
三斜面積合計			5090.744

扇形面積 (扇形中心角 = 78.778°) 6874.704  
 扇形面積 - 三斜面積合計 = 水平円射影面積 1783.960  
 No. 41 天空図円面積 31415.926  
 $(31415.926 - 1783.960) / 31415.926 * 100 = 94.321$   
 切り捨て↓  
 《計画建物用》 三斜計算 天空率 = 94.321 %

建物位置確認表 天空図半径 (R) = 100.000 (図寸mm)  
 《計画建物用》

位置 No.	配置図		天空図		
	距離 (実寸m)	高さ (実寸m)	方位角 (°)	仰角:h (°)	R*cos (h) (図寸mm)
(1)	24.004	18.685	-66.543	37.898	78.911
(2)	12.269	18.685	-38.847	56.711	54.886
(3)	13.810	18.685	-33.864	53.532	59.438
(7)	8.563	2.500	-23.460	16.275	95.993
(8)	29.677	0.605	-88.355	1.168	99.979
(11)	12.392	0.605	-9.577	2.795	99.881

測定点 No. 41 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m

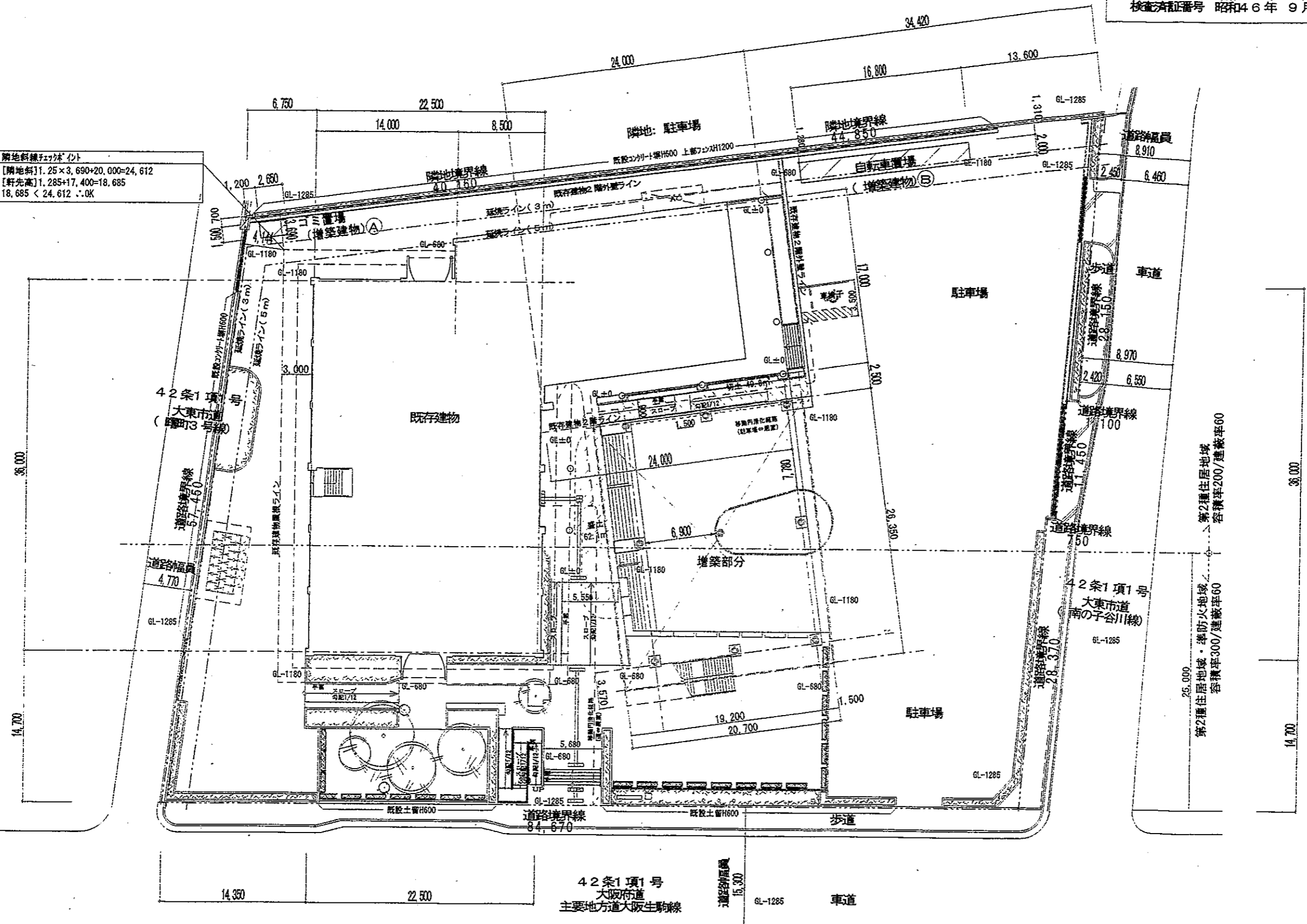
変更前



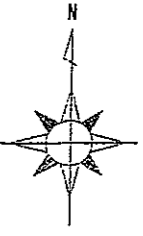
既存建物建築確認番号  
 ・新築時の建築確認番号  
 確認済証番号 昭和45年 8月21日 第1-21240号  
 検査済証番号 昭和46年 9月22日 第1522号

※道路斜線は天空率適用

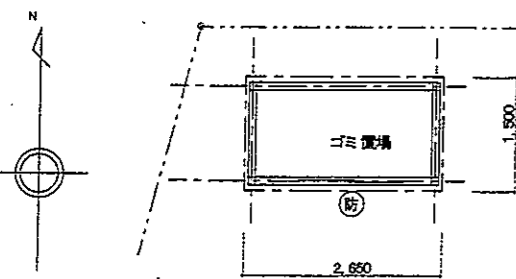
隣地斜線フラット  
 [隣地幅] 1.25 × 3,690 + 20,000 = 24,612  
 [軒先高] 1,285 + 17,400 = 18,685  
 18,685 < 24,612 ∴ OK



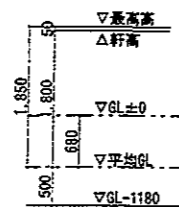
変更後



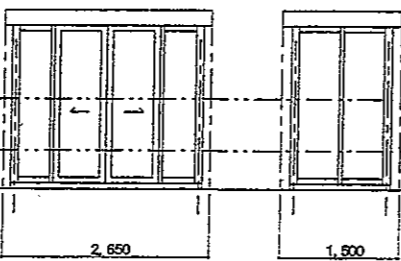
(増築建物) A



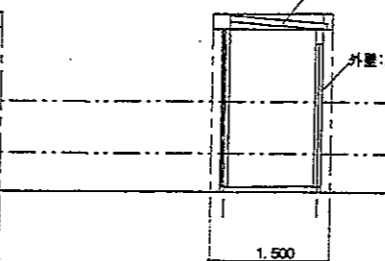
計画段階平面図 S=1:100



計画段階立面図 S=1:100



計画段階立面図 S=1:100

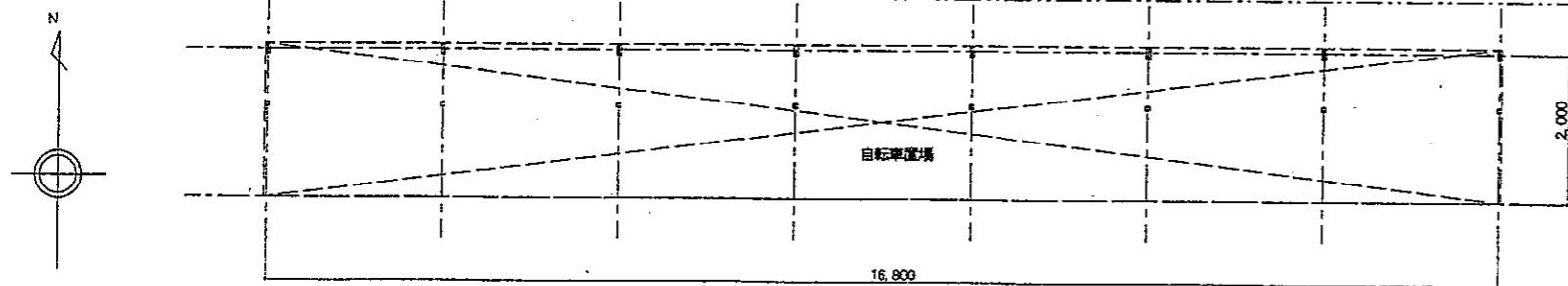


計画段階立面図 S=1:100

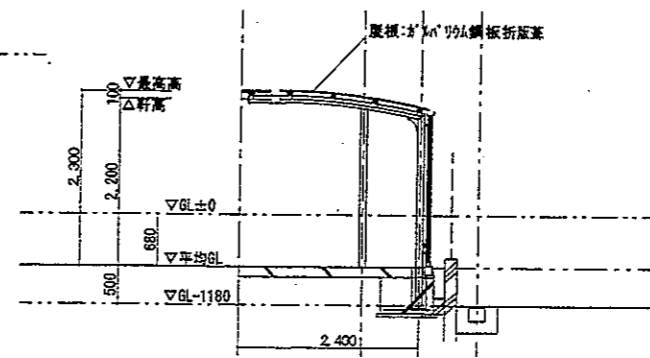
屋根: 2' 6" 0.9A鋼板折屋葺

外壁: 2F-1系

(増築建物) B



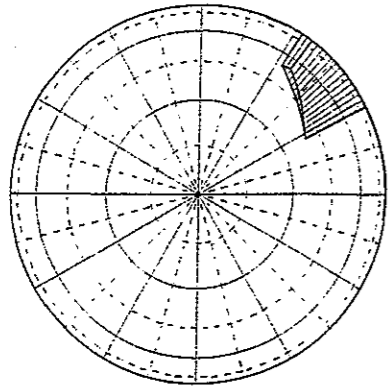
最終完成平面図 S=1:100



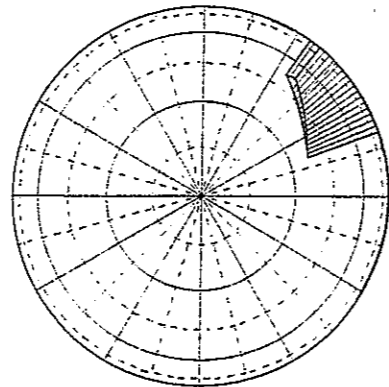
最終完成立面図 S=1:100

変更後

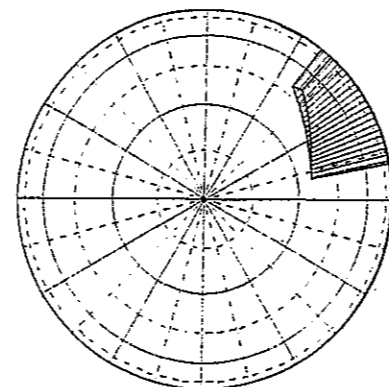
月 日 図名	内容	==FNo.	作成	承認	名称	一級建築士 国番号
訂正		FNo.	発行	提出	市民会館 2階大会室増築他工事 増築建物 (A)・(B) 平面図・立面図・断面図	1/100



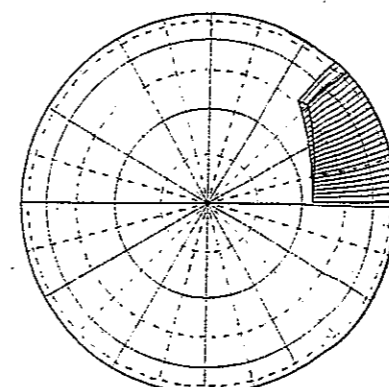
測定点 No. 28 目盛間隔 15°  
正射影 測定面高さ = 0.000 m  
【水平円射影面積 1963.495 , 85.73856】  
天空率 = 95.633 %



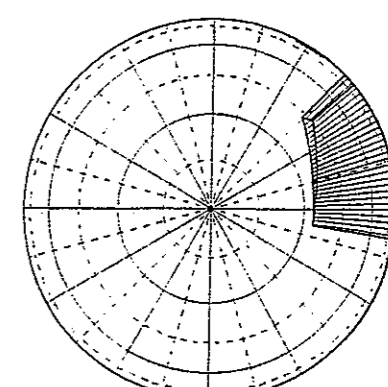
測定点 No. 29 目盛間隔 15°  
正射影 測定面高さ = 0.000 m  
【水平円射影面積 1963.495 , 110.3992】  
天空率 = 94.377 %



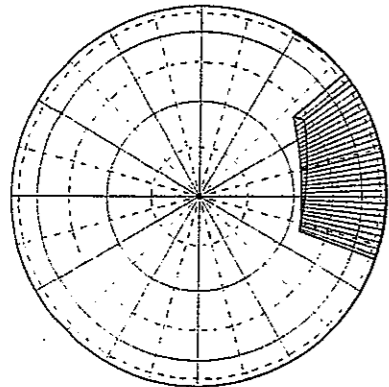
測定点 No. 30 目盛間隔 15°  
正射影 測定面高さ = 0.000 m  
【水平円射影面積 1963.495 , 138.4969】  
天空率 = 92.946 %



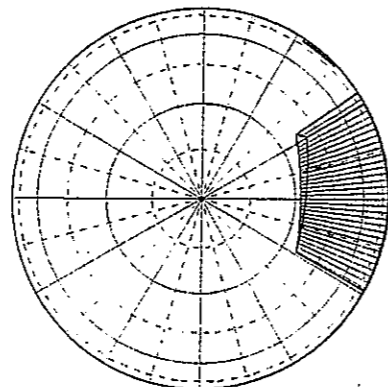
測定点 No. 31 目盛間隔 15°  
正射影 測定面高さ = 0.000 m  
【水平円射影面積 1963.495 , 169.0831】  
天空率 = 91.389 %



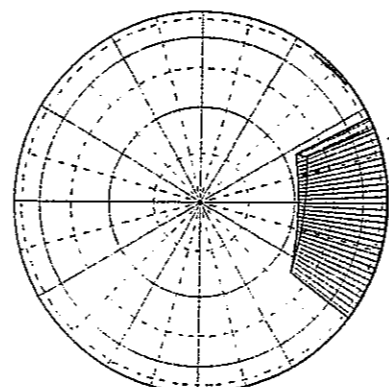
測定点 No. 32 目盛間隔 15°  
正射影 測定面高さ = 0.000 m  
【水平円射影面積 1963.495 , 199.6601】  
天空率 = 89.831 %



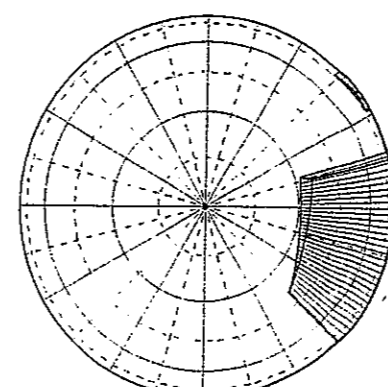
測定点 No. 33 目盛間隔 15°  
正射影 測定面高さ = 0.000 m  
【水平円射影面積 1963.495 , 226.2944】  
天空率 = 88.475 %



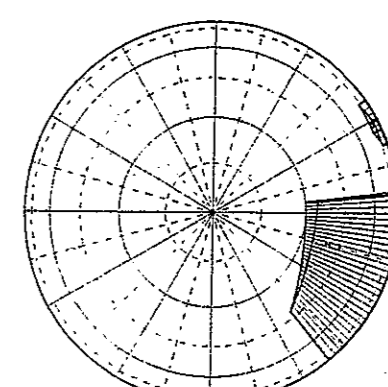
測定点 No. 34 目盛間隔 15°  
正射影 測定面高さ = 0.000 m  
【水平円射影面積 1963.495 , 244.822】  
天空率 = 87.531 %



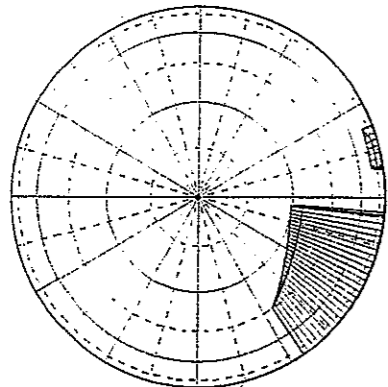
測定点 No. 35 目盛間隔 15°  
正射影 測定面高さ = 0.000 m  
【水平円射影面積 1963.495 , 252.0056】  
天空率 = 87.165 %



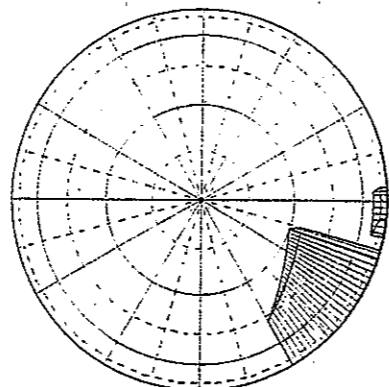
測定点 No. 36 目盛間隔 15°  
正射影 測定面高さ = 0.000 m  
【水平円射影面積 1963.495 , 246.1963】  
天空率 = 87.461 %



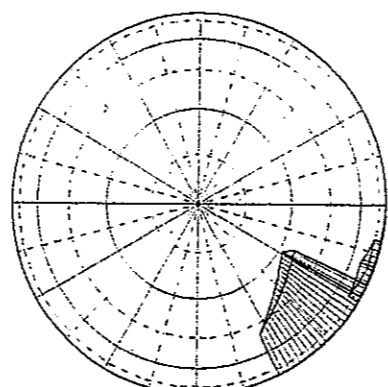
測定点 No. 37 目盛間隔 15°  
正射影 測定面高さ = 0.000 m  
【水平円射影面積 1963.495 , 227.6885】  
天空率 = 88.404 %



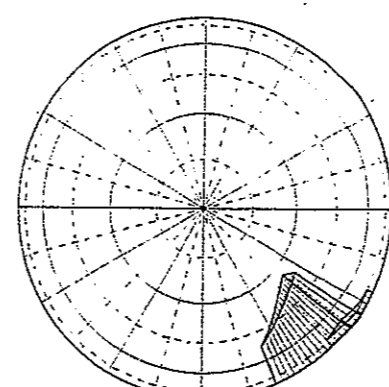
測定点 No. 38 目盛間隔 15°  
正射影 測定面高さ = 0.000 m  
【水平円射影面積 1963.495 , 201.7332】  
天空率 = 89.726 %



測定点 No. 39 目盛間隔 15°  
正射影 測定面高さ = 0.000 m  
【水平円射影面積 1963.495 , 174.8247】  
天空率 = 91.096 %



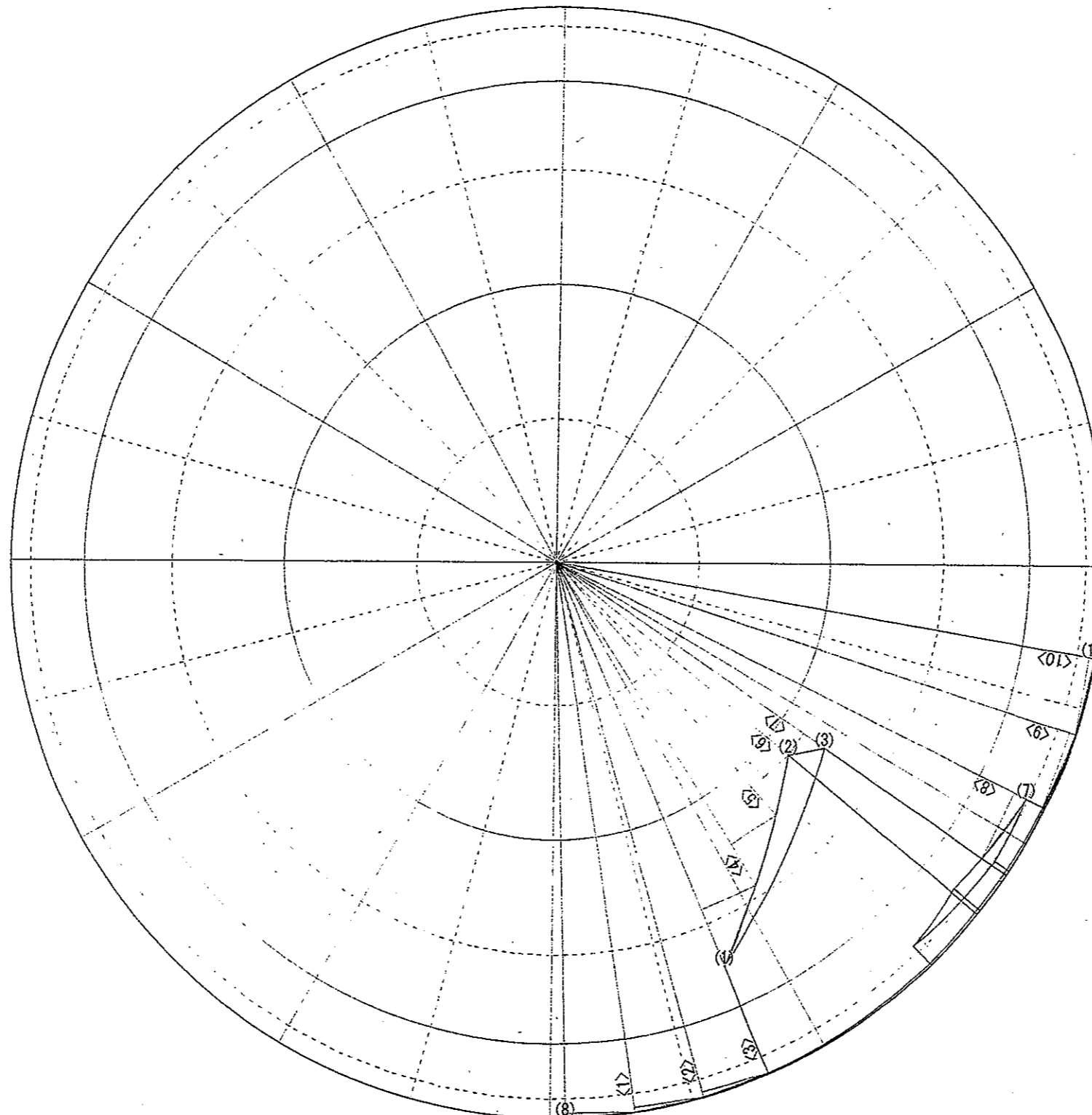
測定点 No. 40 目盛間隔 15°  
正射影 測定面高さ = 0.000 m  
【水平円射影面積 1963.495 , 141.9901】  
天空率 = 92.769 %



測定点 No. 41 目盛間隔 15°  
正射影 測定面高さ = 0.000 m  
【水平円射影面積 1963.495 , 108.8727】  
天空率 = 94.455 %

計画建築物

変更後



測定点 No. 41 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m  
 天空図半径 (R) = 100.000 (図寸mm)  
 《計画建物用》三斜計算 最大分割角 = 10°

三角形 No.	底辺 (mm)	高さ (mm)	面積 (mm <sup>2</sup> )
<1>	99.979	12.645	632.117
<2>	99.919	12.638	631.388
<3>	99.864	12.627	630.491
<4>	78.910	11.028	435.109
<5>	68.744	9.750	335.127
<6>	60.779	8.805	267.579
<7>	59.437	4.767	141.668
<8>	96.157	13.153	632.376
<9>	99.739	14.108	703.558
<10>	99.881	14.132	705.759
三斜面積合計			5115.172

扇形面積 (扇形中心角 = 78.778°) 6874.704  
 扇形面積 - 三斜面積合計 = 水平円射影面積 1759.532  
 No. 41 天空図円面積 31415.926  
 $(31415.926 - 1759.532) / 31415.926 * 100 = 94.399$   
 切り捨て↓  
 《計画建物用》 三斜計算 天空率 = 94.399 %

測定点 No. 41 目盛間隔 15°  
 正射影 測定面高さ = 0.000 m

建物位置確認表 天空図半径 (R) = 100.000 (図寸mm)  
 《計画建物用》

位置 No.	配置図		天空図		
	距離 (実寸m)	高さ (実寸m)	方位角 (°)	仰角:h (°)	R*cos(h) (図寸mm)
(1)	24.004	18.685	-66.543	37.898	78.911
(2)	12.269	18.685	-38.847	56.711	54.886
(3)	13.810	18.685	-33.864	53.532	59.438
(7)	8.757	2.500	-25.869	15.934	96.158
(8)	29.677	0.605	-88.355	1.168	99.979
(11)	12.392	0.605	-9.577	2.795	99.881

変更後

## 検査済証を交付できない旨の通知書

大東市長 東坂 浩一 様

第 NK14-1014 号  
平成 26 年 11 月 28 日指定確認検査機関  
株式会社日本確認検査センター  
代表取締役 磯野 幸夫

下記に係る工事は、建築基準法第7条の2第1項（同法第87条の2又は第88条第1項若しくは第2項において準用する場合を含む。）の規定による検査の結果、下記の理由により同法第7条の2第5項に規定する検査済証を交付できないので、通知します。

なお、この処分に不服があるときは、この通知を受けた日の翌日から起算して60日以内に大阪府建築審査会に対して審査請求をすることができます（なお、この通知を受けた日の翌日から起算して60日以内であつても、処分の日から1年を経過すると審査請求をすることができなくなります。）。また、当該審査請求に対する裁決の送達を受けた日の翌日から起算して6か月以内に株式会社日本確認検査センターを被告として（訴訟において株式会社日本確認検査センターを代表する者は代表取締役磯野幸夫となります。）、処分の取消しの訴えを提起することができます（なお、裁決の送達を受けた日の翌日から起算して6か月以内であつても、裁決の日から1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。）。

ただし、当該処分の取消しの訴えは、当該裁決を経た後でなければ、提起することができません（①審査請求があつた日から3か月を経過しても裁決がないとき②処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき③その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるときを除きます。）。

## 記

1. 確認済証番号 第 NK14-1014 号
2. 確認済証交付年月日 平成26年11月25日
3. 確認済証交付者  
株式会社日本確認検査センター 代表取締役 磯野 幸夫
4. 建築場所、設置場所又は築造場所  
大阪府大東市曙町400-1
5. 検査を行った建築物、建築設備若しくは工作物又はその部分の概要  
建築物の用途 : 集会場（市民会館）  
工事種別 : 増築  
構造種別 : SRC造 一部 S造  
  
建築物の階数 : 地上階数 5階 地下階数 0階  
申請棟数 : 3棟
6. 検査年月日 平成26年11月28日
7. 検査を行った確認検査員氏名 XXXXXXXXXX

(理由) 駐輪所及びごみ置き場の位置の不整合

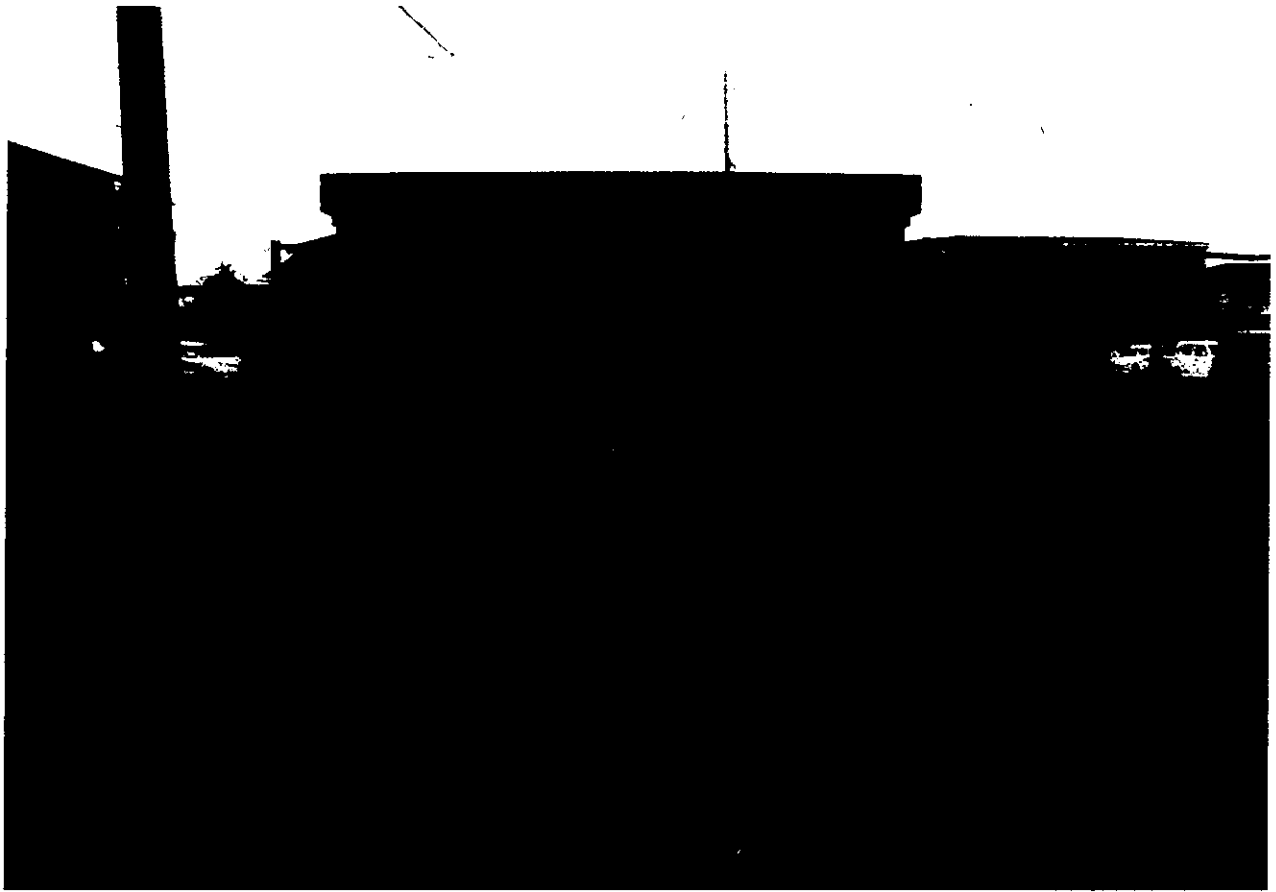
期限日 : 平成26年12月5日

(備考)

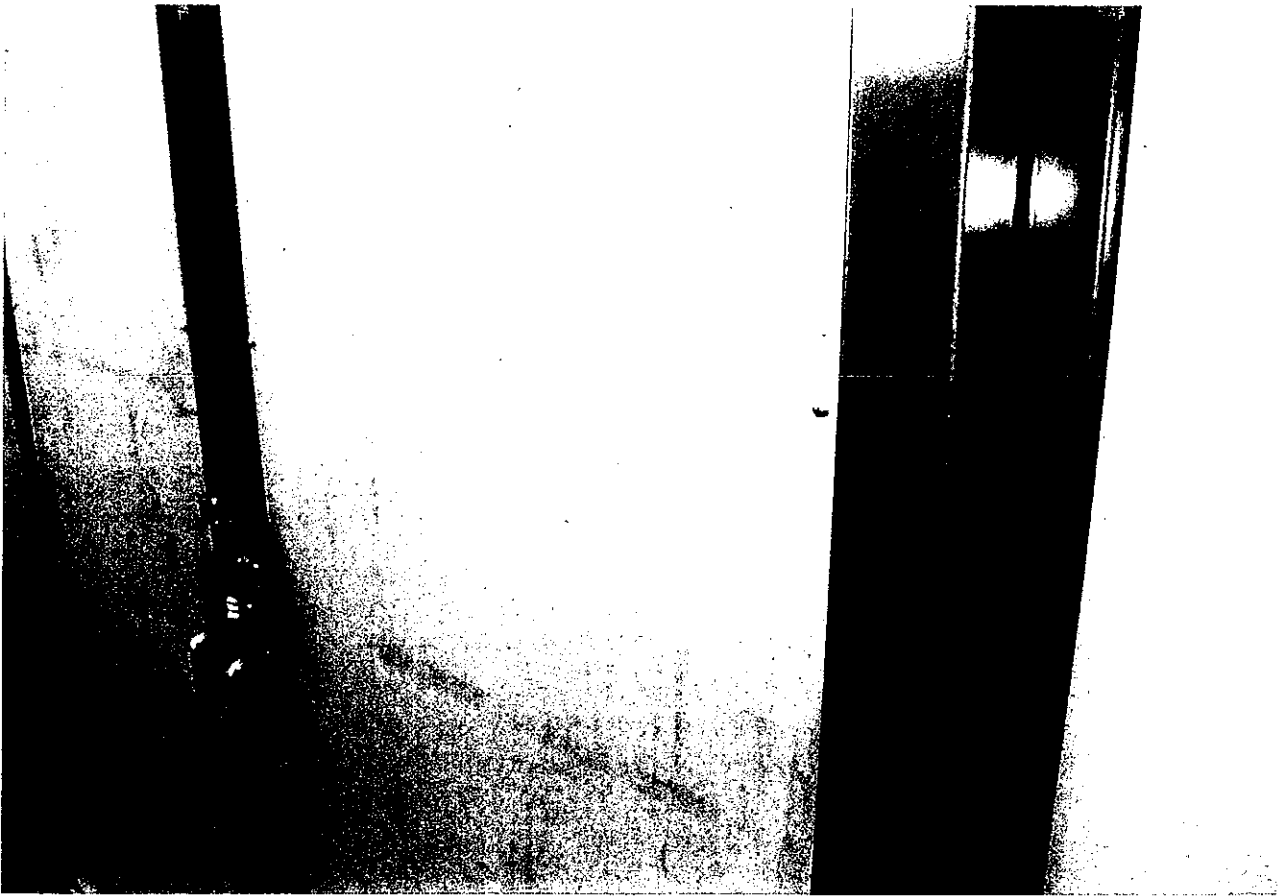
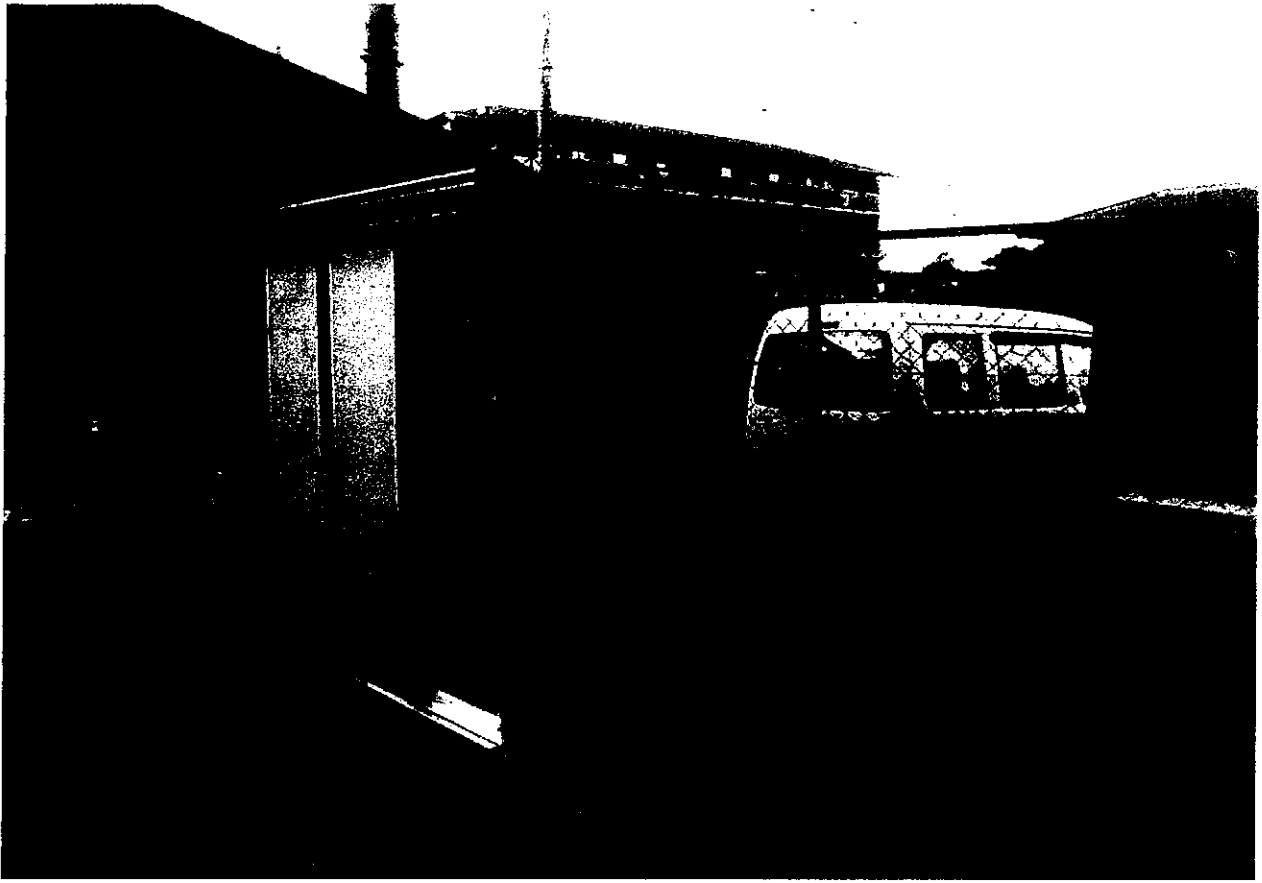
# 完了検査結果報告書（一般）

検査員氏名	高澤 庫司	工事監理者の確認署名	会社名：(株) 建築研 担当者：[REDACTED] TEL：[REDACTED] FAX：[REDACTED]	工事施工者の確認署名 担当者：[REDACTED] TEL：[REDACTED] FAX：[REDACTED]	会社名：富田建設(株) 担当者：[REDACTED] TEL：[REDACTED] FAX：[REDACTED]	
検査年月日	平成26年11月28日	確認済証番号	NK14-1014	確認済証交付年月日	平成26年11月25日	
特定工程後の工事	<input type="checkbox"/> 適合 <input checked="" type="checkbox"/> 保留					
検査項目				適合	指摘事項	資料提出
書類	工事監理報告書				✓	✓
集団規定	1	道路幅員・道路後退・外壁後退			✓	
	2	敷地形状(境界ポイント)・方位・建物位置・地盤高			✓	
	3	道路、隣地、日影、北側斜線、天空率による各部の高さ			✓	
	4	その他(土留め等敷地の安全性)			✓	
単体規定	1	建物形状・階高・軒高・絶対高			✓	
	2	採光面積・換気面積・排煙面積・換気設備			✓	
	3	外部(屋根・外壁等)の耐火仕様・延焼線内開口部の防火設備			✓	
	4	内部(床・壁・天井等)の耐火仕様			✓	
	5	防火区画・防火設備・特定防火設備の仕様及び作動装置			✓	
	6	廊下幅・出入口幅・避難経路の確保・非常用進入口			✓	
	7	直通階段・避難階段の形状及び幅、並びに耐火仕様			✓	
	8	排煙区画・排煙口の形状及び開閉作動状況			✓	
	9	非常用照明の点灯試験			✓	
	10	法28条の2(シックハウス対策)関連			✓	
	11	住宅用火災警報器			-	
	12	浄化槽(施工状況報告書)			-	
	13	バリアフリー法その他各条例			✓	
	14	その他				
指摘事項	設備監理報告書(非常照明測定値)、不使用区画表示写真、自然通風設備設置等 コミ置床の防火設備未済					
是正連絡日	/			建築主報告日	行政報告日	
連絡方法 (TEL/FAX)	<input type="checkbox"/> TEL <input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> TEL <input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> TEL <input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> TEL <input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> TEL <input type="checkbox"/> FAX	
連絡担当者				担当検査員		





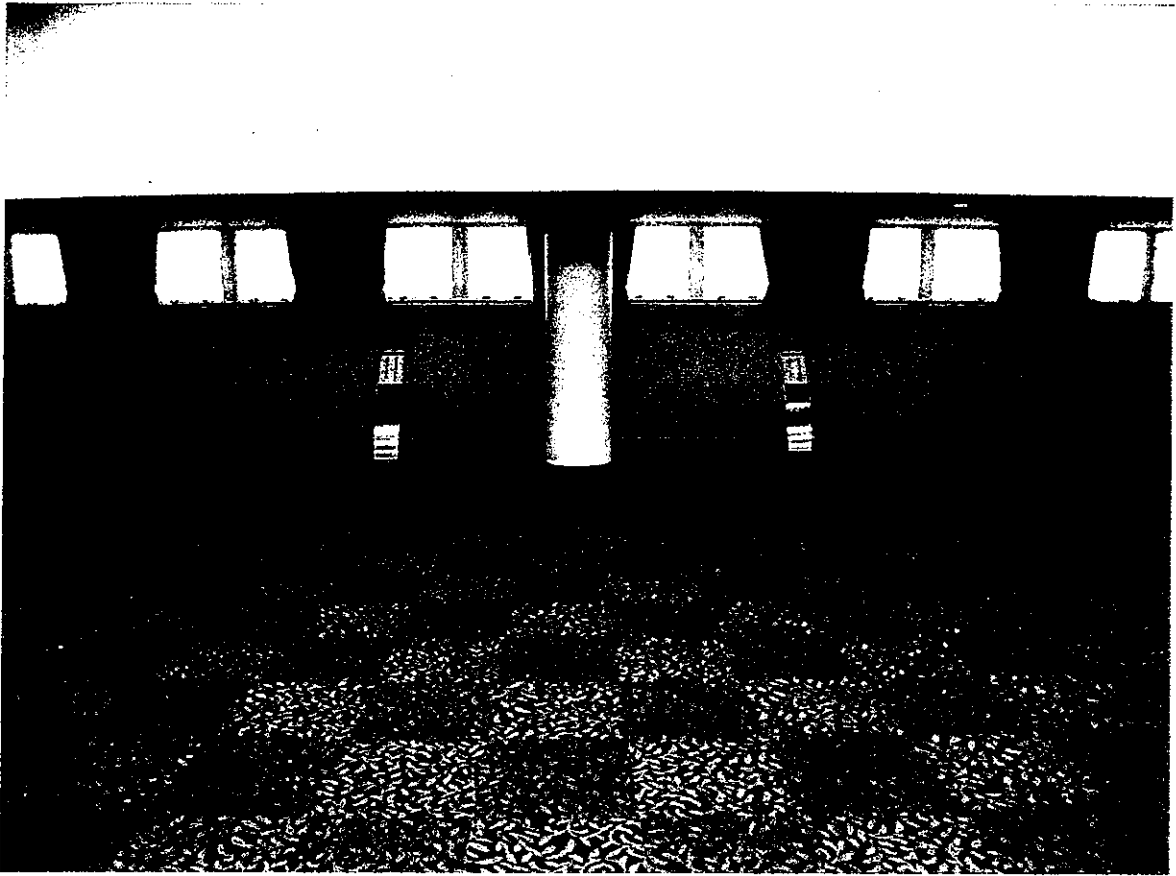


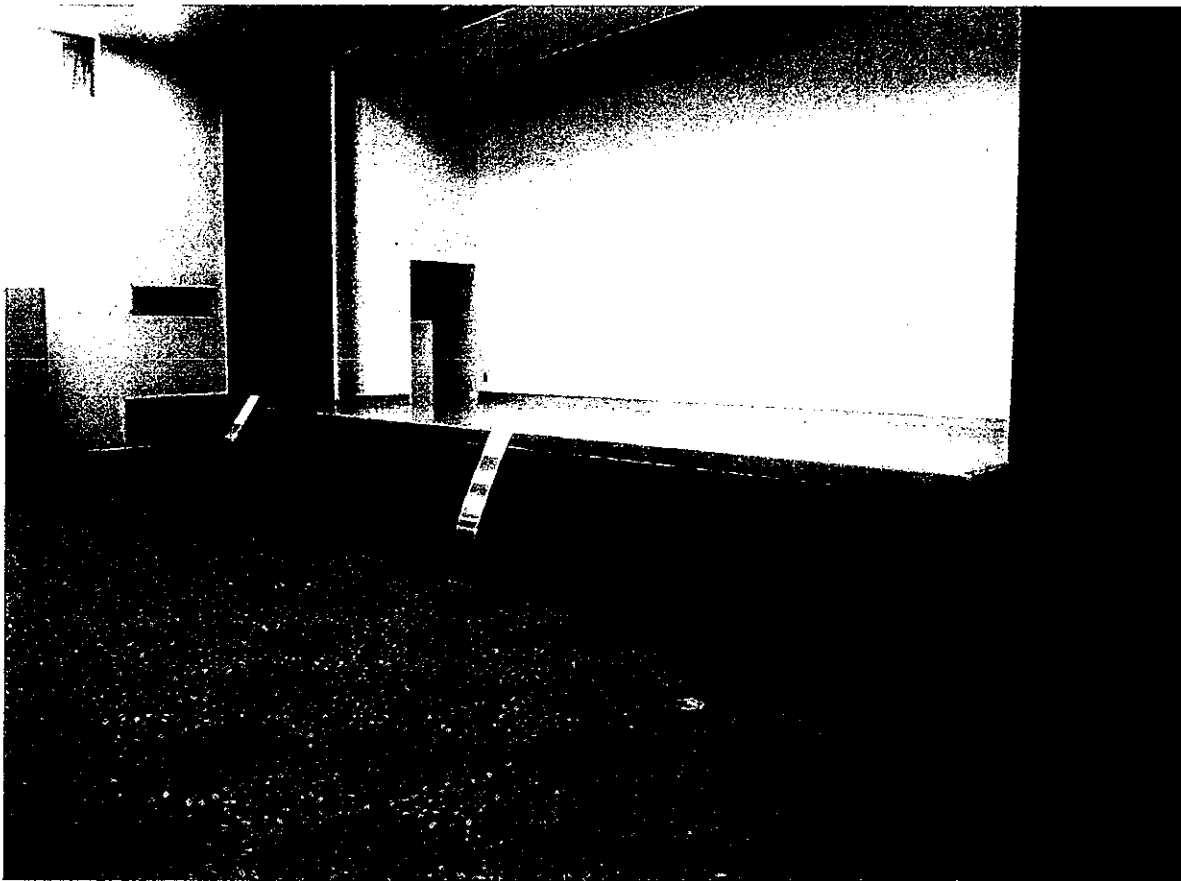
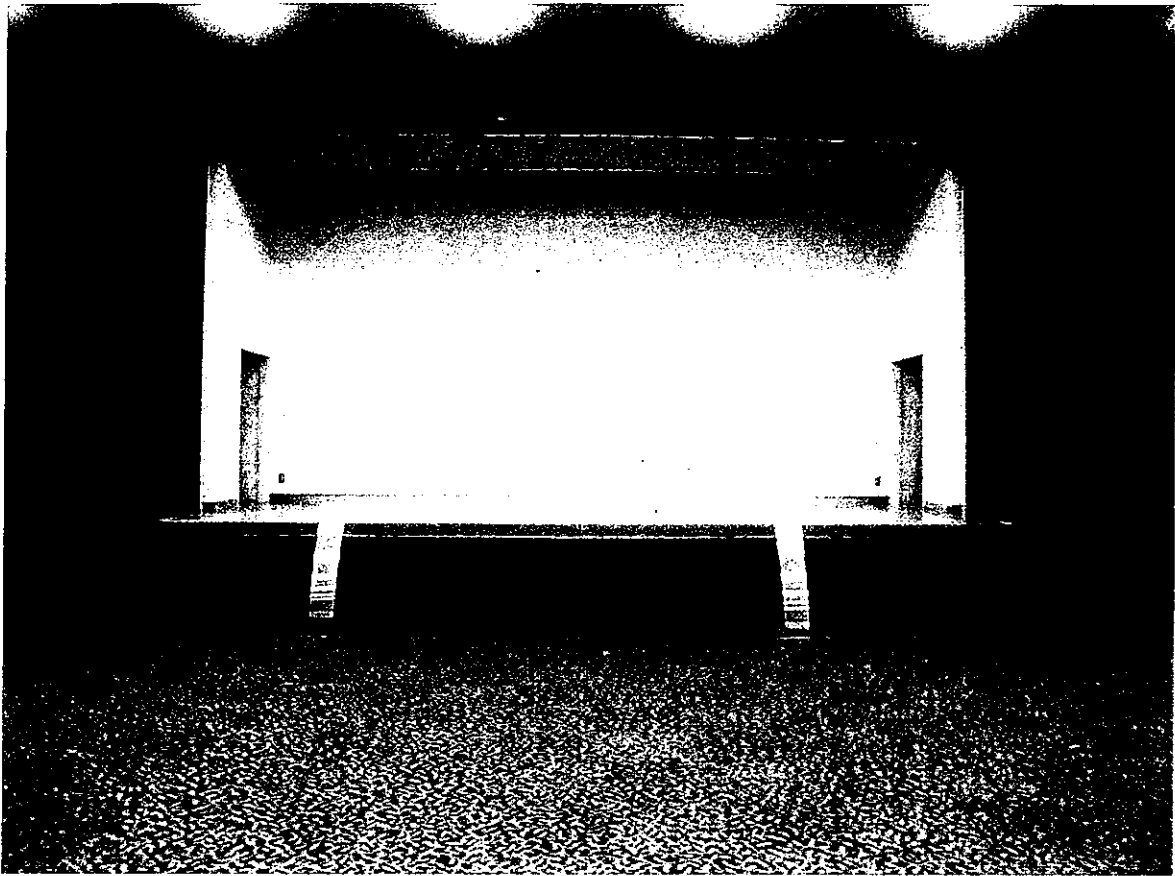


U

茶色の部分にはイスを

置かないでください。







# 工事監理報告書

〇年〇月〇日

(株)日本確認検査センター 様

建築基準法及び関係法令に適合するように施工されたことを確認しましたので報告します。  
この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

工事監理者 大阪市北区大淀中1-8-5  
株式会社 建線研

工事施工者 大東市大野1-4-4  
富田建設株式会社 富田泰富 社印

工事現場管理者 大阪市北区大淀中1-8-5  
株式会社 建線研

確認	平成26年7月24日 第MK14-0486号 (訂正変更) 平成26年11月25日 第NK14-1014号			
建築主 (建築主)	大東市長 東坂浩一			
工事名称	市民会館2階大集会室増築他工事			
敷地の地名地番	大東市曙町400-1			
設計者資格 住所氏名	(1)級建築士(大臣)登録 第[ ]号 [ ] 大阪市北区大淀中1-8-5 (1)級建築士事務所 (大阪府)知事登録(チ)第8143号 株式会社建線研 電話 06-6454-1630			
工事監理者 住所氏名	(1)級建築士(大臣)登録 第[ ]号 [ ] 大阪市北区大淀中1-8-5 (1)級建築士事務所 (大阪府)知事登録(チ)第8143号 株式会社建線研 電話 06-6454-1630			
工事施工者 住所氏名	建設業の許可 大阪府知事(特-23)第3059号 大東市大野1-4-4 富田建設株式会社 富田泰富 電話 072-872-1349			
工事期間	平成 26年 7月 25日 ~ 平成 26年 11月 27日			
建築物 (工作物) 概要	工事種別	増築	用途 (工作物の種類)	集会場(市民会館)
	構造	SRC一部S	延べ面積	5642.923㎡
	階数	地上 地下 5F/0	軒高 (工作物の高さ)	26.130m
報告様式 (該当するものを○で囲む)	①	共通	⑦	シックハウス内装関係
	②	基礎配筋	⑧	防火区画等関係
	③	木造・軸組工法	⑨	バリアフリー関係
	④	木造・枠組壁工法	10	詳細報告
	⑤	鉄筋コンクリート造	⑪	各種資料チェックリスト
	⑥	鉄骨造		

## 工事監理報告書(共通)

項目	月日	確認方法	結果	不具合箇所の処理状況	備考
確認の表示					
敷地の形状等	敷地境界等	7/10	B	適	
	すみ切り				
	擁壁設置の許認可の有無				
	道路との接続	7/10	A	適	
	道路境界線等	7/10	A	適	
配置等	敷地境界線と外壁の距離	7/10	B	適	
		7/10	B	適	
建物の高さ	設計GL及び	7/15	B	適	
	現地設計GL	7/15	B	適	
	建物の高さ				
	(斜線制限)				
主要構造等	耐火、防火性能 その他	10/9	B	適	
内装	仕上材の種類	10/30	A	適	
	仕上げの状況	10/30	A	適	
開口部	寸法、形状	10/7	B	適	
	建具の種類	10/7	A	適	
建築設備	自然換気設備	10/30	B	適	
	給排水設備				
	電気設備	10/30	A	適	
備考	1 月日欄には、項目の確認を実施した月日を記入する。 2 確認方法欄には、「立会目視」(A)、「立会採寸」(B)、「施工報告」(C)、「写真」(D)、「その他」(E)のいずれかの方法を記入する。 3 結果欄には、「適」、「不適」を記入する。				

## 【各種材料試験及び検査結果一覧】

材料	試験項目	部位	サンプル数	試験又は検査実施者	結果	備考
コンクリート	骨材試験	基礎		稲田巳建材	適	塩分、粘土塊、洗い アルカリ反応
	コンクリートの配合	基礎		稲田巳建材	適	配合報告書
	コンクリートの圧縮強度(1週)	基礎		日本建築総合試験所	適	
	コンクリートの圧縮強度(4週)	基礎			適	現場水中養生
	コンクリートの施工	基礎		富田建設	適	施工報告書
鉄筋	強度試験	基礎		岸和田製鋼・中山鋼業	適	ミルシート等
	施工	基礎		富田建設	適	
	圧接部強度試験					
	溶接又は圧接部の 内部欠陥検査	基礎・梁		日本建築総合試験所	適	

※部位(各工程)ごとに作成すること。ただし、記入できない場合は別途作成してください。

## 工事監理報告書(基礎配筋)

項目	確認事項	月日	確認方法	結果	不具合部分の処理方法	備考
地盤	地盤状況(地盤調査の要否)					
直接基礎	形状及び寸法					
	根入深さ					
	支持地盤の状態(乱されていないこと)					
	支持地盤の確認(地盤調査との照合)					
杭基礎 (杭頭処理)	形状及び寸法	8/25	B	適		
	杭鉄筋の種別、径、本数、間隔					
	杭芯ずれの有無	8/25	B	適		
	杭鉄筋の定着	8/25	B	適		
	杭頭破壊、損傷の有無	8/25	A	適		
	杭頭レベル	8/25	B	適		
ベース配筋	鉄筋の径、間隔	8/25	B	適		
	鉄筋の定着	8/25	B	適		
	鉄筋のかぶり厚さ	8/25	B	適		
	杭基礎のフーチング立ち上がり筋	8/25	B	適		
基礎梁 配筋等	形状及び寸法	8/25	B	適		
	-スラブ厚さ	8/25	B	適		
	-基礎梁の幅、せい	8/25	B	適		
	主筋の種別、径、本数、間隔	8/25	B	適		
	主筋の定着	8/25	B	適		
	スリーブ、ハンチ、増し打ちの補強					
	あばら筋の径、本数、間隔	8/25	B	適		
	あばら筋の加工	8/25	B	適		
	幅止め筋、腹筋の本数、位置	8/25	B	適		
	鉄筋のかぶり厚さ	8/25	B	適		
	柱主筋及び帯筋の種別、径、本数、間隔	8/25	B	適		
	結束筋の状況	8/25	B	適		
	地下壁					
その他	ガス圧接技量資格者の確認	8/25	B	適		
	ガス圧接継手位置、形状の確認	8/25	B	適		
	ガス圧接継手の強度確認	8/25	B	適		
	型枠、せき板、支保工、金物等の確認	8/25	B	適		
	型枠、支柱及び金物の締め付け、	8/25	B	適		
	清掃の確認	8/25	B	適		
備考	1. 月日欄には、項目の確認を実施した月日を記入する。 2. 確認方法欄には、「立会目視」(A)、「立会採寸」(B)、「施工報告」(C)、「写真」(D)、「その他」(E)のいずれかの方法を記入する。 3. 結果欄には、「適」、「不適」を記入する。					

## 工事監理報告書(鉄骨造)

項目	確認事項	月日	確認方法	結果	不具合部分の処理方法	備考	
柱脚部	(1) アンカーボルトの径、本数、位置 歪み、ナット締め付け	9/12 9/12	B A	適 適			
	(2) ベースプレートの据え付け	9/12	A	適			
	(3) 根巻鉄筋						
	(4) コンクリート投入孔						
	(5) 認定柱脚	9/12	A	適			
接合部	(1) 継手部の状況 ・ボルトの径、本数、余長 ・継手の位置、形状 ・密着状態	9/16	B	適			
	(2) パネルゾーンの状況	9/16	A	適			
	(3) 小梁、片持梁、階段部等	9/16	B	適			
鉄骨	(1) 各部材の形状、寸法 " 配置 " 材質	9/5 9/5 9/5	B A A	適 適 適			
	(2) 溶接欠陥の有無	9/5	A	適			
	(3) カバープレート、ブレース等の取付け スカラップの有無	9/5 9/5	A A	適 適			
	(4) スリーブの位置 " 大きさ " 補強						
	床版	(1) 床の仕様	9/18	A	適		
		(2) 床ブレース:材質、寸法等の確認					
(3) デッキプレート床方向 焼き抜きせん溶接の状態 配筋状況、方向確認		9/18	B	適			
(4) 大臣認定床							
(5) スタッドボルト:寸法、ピッチの確認							
備考	1. 月日欄には、項目の確認を実施した月日を記入する。 2. 確認方法欄には、「立会目視」(A)、「立会採寸」(B)、「施工報告」(C)、「写真」(D)、「その他」(E)のいずれかの方法を記入する。 3. 結果欄には、「適」、「不適」を記入する。						

試験・検査項目	部位	サンプル数	試験又は検査実施者	結果	備考
鋼材強度試験	梁	別紙	JFE条鋼(株)	合格	
ボルト類等強度試験	梁	別紙	日本ファスナー工業(株)	合格	
溶接部強度試験					
溶接部非破壊検査	柱・梁	74	小濱検査(株)	合格	



## 各種資料チェックリスト

項 目	有	無	備 考
地盤調査報告書	○		
地盤改良施工報告書及び地盤改良品質検査結果報告書			
杭耐力試験報告書及び杭施工報告書	○		
骨材試験報告書	○		
コンクリート配合報告書	○		
フレッシュコンクリートのスランプ、空気量、単位容積質量、温度及び塩化物量試験報告書			
コンクリート圧縮強度試験報告書	○		
コンクリートコア圧縮強度試験報告書			
硬化したコンクリート塩化物量試験報告書			
コンクリート工事施工結果報告書	○		
コンクリート打込結果表			
鉄筋強度試験報告書	○		
PC鋼棒、PC鋼線及びPC鋼より線強度試験報告書			
鋼材強度試験報告書	○		
ボルト類強度試験報告書	○		
高力ボルト締め付け検査報告書			
溶接部非破壊試験報告書	○		
溶接部強度試験報告書			
圧接部強度試験報告書	○		
鉄骨工事施工状況報告書	○		
使用金物一覧表			
鋼材の品質証明書の写し	○		
鋼材の流通経路を示す書類	○		
工事写真	○		

工事監理報告書(防火区画等)

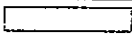

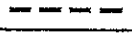
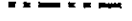
項 目		月日	確認方法	結果	不具合箇所の処理状況	備 考
防火区画等の見え隠れ部分	たて穴区画	階段	11/11	B	適	
		吹き抜け				
		EV昇降路	11/11	B	適	
		PS				
	面積区画					
	異種用途区画					
	その他の区画	高層区画				
		界壁				
		防火間仕切壁				
	防火区画等貫通部分充填	たて穴区画	階段			
吹き抜け						
EV昇降路						
PS						
面積区画						
異種用途区画						
その他の区画		高層区画				
		界壁				
		防火間仕切壁				
芯出し穴等の充填						
防火設備の仕様		11/11	A	適		
防火戸取付部分の充填		11/11	A	適		
備 考	1. 月日欄には、項目の確認を実施した月日を記入する。 2. 確認方法欄には、「立会目視」(A)、「立会採寸」(B)、「施工報告」(C)、「写真」(D)、「その他」(E)のいずれかの方法を記入する。 3. 結果欄には、「適」、「不適」を記入する。					

※ 工事写真については、見え隠れ部分、区画貫通処理部分を重点的に添付すること。

※ 防火区画等の部分を明確にした図面を添付すること。

図面の作成について

各階平面図は、防火区画等の位置を色別表示(下表の表示例参照)してください。  
 なお、平面図はA4サイズを原則とし、必ず通り芯を明記してください。

表示	色	区画の種類
	黄	たて穴区画
	赤	面積区画
	緑	異種用途区画
	青	その他区画 (排煙区画含む)

防火区画等の種類

	対象建築物	区画面積等	区画の方法	法令	
たて穴区画	主要構造部が準耐火構造、耐火構造で地階又は3階以上の階に居室のある建築物	メゾネット住戸、吹抜き、階段、エレベーター昇降路、タテスペース等のたて穴を形成する部分の周囲を区画	準耐火構造、耐火構造の床・壁・特定防火設備・防火設備	令112条9項	
面積区画	耐火建築物	1,500㎡以内	耐火構造の床・壁・特定防火設備	令112条1項	
	準耐火建築物	イ 一般	1,500㎡以内	準耐火構造、耐火構造の床・壁・特定防火設備	同上
		法27条2項、法62条1項による場合	500㎡以内	防火上主要な間仕切壁	耐火構造、準耐火構造・防火構造(小屋裏又は天井裏に達しめる)
	口 準耐火建築物	イ 一般	1,500㎡以内	準耐火構造、耐火構造の床・壁・特定防火設備	令112条1項
法27条2項、法62条1項による場合		1,000㎡以内(500㎡以内)	同上	令112条3項(令112条2項)	
異種用途区画	一部が法24条各号の一に該当する建築物	当該用途部分、相互間及びその他の部分との間を区画	耐火構造、準耐火構造、両面防火の壁・特定防火設備・防火設備	令112条12項	
	一部が法27条1項、2項各号の一に該当する建築物		耐火構造の床・壁・特定防火設備	令112条13項	
その他区画	高層区画 十一階以上の部分	イ 一般	100㎡以内	耐火構造の床・壁・特定防火設備・防火設備	令112条5項
		壁・天井の仕上、下地とも準不燃材料以上	200㎡以内	耐火構造の床・壁・特定防火設備	令112条6項
		壁・天井の仕上、下地とも準不燃材料以上	500㎡以内	同上	令112条7項
	内装制限緩和区画	100㎡以内(共同住宅の住戸200㎡以内)	準耐火構造、耐火構造の床・壁・特定防火設備・防火設備	令129条1項	
	排煙設備緩和区画	100㎡以内(高さが31m以下の部分にある共同住宅の住戸は200㎡以内)	同上	令126条の2第1項1号	
	非常用の昇降機の設置を免除する区画	100㎡以内	耐火構造の床・壁・常閉式特定防火設備	令129条の13の2	
	避難階段の設置を免除する区画	同上	耐火構造の床・壁・特定防火設備	令122条1項	
	避難階段の区画	——	耐火構造の壁・特定防火設備・防火設備	令123条1項1号、6号	
	特別避難階段の区画	——	同上	令123条3項2号、9号	
	界壁	共同住宅	各戸	準耐火構造、耐火構造又は防火構造(小屋裏又は天井裏に達しめる)	令114条1項
防火切間	学校、病院、診療所、児童福祉施設等、ホテル、旅館、寄宿舍、マーケット	その用途に供する部分の防火上主要な間仕切壁	同上	令114条2項	

## 工事監理報告書(シックハウス内装関係)

項目	月日	確認方法	結果	不具合箇所の処理状況	備考	
居室部分	平面図の区分					
	居室の大きさ					
	使用建築材料の種類	床	11/20	A	適	
		壁	11/20	A	適	
		天井	11/20	A	適	
		床下				
		天井裏	11/20	A	適	
		小屋裏				
		造り付家具				
		階段				
		建具	11/20	A	適	
		点検口	11/20	A	適	
		使用建築材料の面積	床	11/20	A	適
	壁		11/20	A	適	
	天井		11/20	A	適	
	床下					
	天井裏		11/20	A	適	
	小屋裏					
	造り付家具					
	階段					
	建具		11/20	A	適	
	点検口		11/20	A	適	
	天井裏等の確認 (気密層又は通気止めを使用の場合は、写真を提出)	床下				
天井裏		11/20	A	適		
小屋裏						
物置		11/20	A	適		
ウォークインクローゼット その他						
防蟻材	床下					
	柱					
	壁					
添付図書報告資料	使用建築材料表			(有・無)		
	写真(材料の種類が判断できるもの)			(有・無)		
	納品伝票			(有・無)		
	品質証明書			(有・無)		
備考	1. 月日欄には、項目の確認を実施した月日を記入する。 2. 確認方法欄には、「立会目視」(A)、「立会採寸」(B)、「施工報告」(C)、「写真」(D)、「その他」(E)のいずれかの方法を記入する。 3. 結果欄には、「適」、「不適」を記入する。					

シックハウス関連内装材一覧表

階	部屋名		使用材料	認定番号	F☆の数	添付資料の番号	備考		
2	集会場	床	仕上材	タイルカーペット		F☆☆☆☆			
			下地材	コンクリート		F☆☆☆☆			
			接着剤			F☆☆☆☆			
		壁	仕上材	イストフロン		F☆☆☆☆			
			下地材	PB		F☆☆☆☆			
			接着剤			F☆☆☆☆			
		天井	仕上材	岩綿吸音板		F☆☆☆☆			
			下地材	PB		F☆☆☆☆			
			接着剤			F☆☆☆☆			
		建具	仕上材	SD		F☆☆☆☆			
			接着剤			F☆☆☆☆			
		家具	仕上材						
			接着剤						
		2	サイドロビー	床	仕上材	タイルカーペット		F☆☆☆☆	
					下地材	コンクリート		F☆☆☆☆	
					接着剤			F☆☆☆☆	
				壁	仕上材	クロス	GB0308004	F☆☆☆☆	
					下地材	PB		F☆☆☆☆	
接着剤						F☆☆☆☆			
天井	仕上材			ジプトーン		F☆☆☆☆			
	下地材			軽量鉄骨		F☆☆☆☆			
	接着剤					F☆☆☆☆			
建具	仕上材			SD		F☆☆☆☆			
	接着剤					F☆☆☆☆			
家具	仕上材								
	接着剤								
				床	仕上材				
					下地材				
					接着剤				
				壁	仕上材				
					下地材				
		接着剤							
		天井	仕上材						
			下地材						
			接着剤						
		建具	仕上材						
			接着剤						
		家具	仕上材						
			接着剤						

※使用材料、その認定番号の記入があれば、出荷証明・納入伝票・材料写真等の添付は不要です。

但し、検査時に検査員が裏付けとなる証明・伝票等を求めた時には提示できるよう書類を整えておいてください。

工事監理報告書(バリアフリー関係)

一般基準

項目	月日	確認方法	結果	不具合箇所の処理状況	備考
廊下等 (政令第11条) (条例第14条)	① 表面は滑りにくい仕上げであるか	11/11	○	適	
	② 点状ブロック等の敷設(階段、傾斜路又はエスカレーターの上下端に近接する部分) ※1	11/11	○	適	
	③ 手すりを設けているか(条例第14条第二号に定める特別特定建築物に限る)		—		
階段 (政令第12条) (条例第15条)	① 手すりを設けているか(踊場を除く)	11/11	○	適	
	② 表面は滑りにくい仕上げであるか	11/11	○	適	
	③ 段は識別しやすいものか	11/11	○	適	
	④ 段はつまずきにくいものか	11/11	○	適	
	⑤ 踊場への点状ブロック等の敷設(段部分の上下端に近接する踊場の部分) ※2	11/11	○	適	
	⑥ 原則として主な階段を回り階段としていないか	11/11	○	適	
傾斜路 (政令第13条) (条例第16条)	① 手すりを設けているか(勾配1/12以下で高さ16cm以下の傾斜部分は免除)		—		
	② 表面は滑りにくい仕上げであるか		—		
	③ 前後の廊下等と識別しやすいものか		—		
	④ 踊場への点状ブロック等の敷設(傾斜部分の上下端に近接する踊場の部分) ※3		—		
	⑤ 両側に側壁又は立ち上がり部を設けているか		—		
エスカレーター (条例第17条)	① 踏み段の段は認識しやすいものか(階段状のエスカレーターに限る)		—		
	② くし板と踏み段等は認識しやすいものか		—		
	③ 昇降口に音声により昇降・移動の方向等を通報する装置を設けているか		—		
便所 (政令第14条) (条例第18条)	① 表面は滑りにくい仕上げであるか	11/11	○	適	
	② ベビーチェア及びベビーベッドを設け、その旨を表示しているか(条例第18条第2項に掲げる特別特定建築物のうち、1,000㎡以上のものに限る)		—		
	③ 下記④及び⑤の便房を設ける便所				
	(1) 便所の出入口付近には便所の男女別、配置等を点字その他の方法(文字等の浮き彫り又は音による案内)により視覚障害者に示す設備を設けているか ※4	11/11	○	適	
	(2) 洗面器又は手洗器の水栓は操作が容易な方式のものを設けているか(1以上)	11/11	○	適	
	④ 車いす使用者用便房を設けているか(1以上)	11/11	○	適	
	(1) 腰掛便座、手すり等が適切に配置されているか	11/11	○	適	
	(2) 車いすで利用しやすいよう十分な空間が確保されているか	11/11	○	適	
	(3) 洗浄装置は、押しボタンその他操作が容易な方式のものを設けているか	11/11	○	適	
	(4) 衣服を掛けるための金具等を設けているか	11/11	○	適	
	⑤ 水洗器具(オストメイト対応)を設けた便房を設けているか(1以上)	11/11	○	適	
	(1) 洗浄装置は、押しボタンその他操作が容易な方式のものを設けているか	11/11	○	適	
	(2) 衣服を掛けるための金具等を設けているか(1以上。ただし、10,000㎡以上の場合は2以上)	11/11	○	適	
	(3) 長さ1.2m以上の介護ベッドを設け、その表示をしているか(10,000㎡以上に限る)		—		
	(4) 水洗器具(オストメイト対応)は温水が利用できるものか(10,000㎡以上に限る)		—		
(5) 物を置くための棚等を設けているか(10,000㎡以上に限る)		—			
⑥ 小便器を設ける場合は、床置き式小便器、壁掛式小便器(受け口の高さが35cm以下のものに限る)その他これらに類する小便器を設けているか(1以上)	11/11	○	適		
(1) 小便器に手すりを設けているか(1以上)	11/11	○	適		

項目	年月日	確認方法	結果	不具合箇所の処理状況	備考	
ホテル又は旅館の客室 (政令第15条) (条例第19条)	① 客室の総数が50以上で、車いす使用者用客室を1以上設けているか	—				
	② 車いす使用者用客室の床の表面は滑りにくい仕上げであるか	—				
	③ 便所(同じ階に共用便所があれば免除)	/	/	/	/	/
	(1) 便所内に車いす使用者用便房を設けているか	—				
	(2) 出入口の幅は80cm以上であるか (当該便房を設ける便所も同様)	—				
	(3) 出入口の戸は車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか (当該便房を設ける便所も同様)	—				
	(4) 洗浄装置は、押しボタンその他操作が容易な方式のものを設けているか	—				
	④ 浴室等(共用の浴室等があれば免除)	/	/	/	/	/
	(1) 浴槽、シャワー、手すり等が適切に配置されているか	—				
	(2) 車いすで利用しやすいよう十分な空間が確保されているか	—				
(3) 出入口の幅は80cm以上であるか	—					
(4) 出入口の戸は車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか	—					
敷地内の通路 (政令第16条) (条例第20条)	① 表面は滑りにくい仕上げであるか	11/11	○	適		
	② 段がある部分	/	/	/	/	
	(1) 手すりを設けているか	11/11	○	適		
	(2) 識別しやすいものか	11/11	○	適		
	(3) つまずきにくいものか	11/11	○	適		
	③ 傾斜路	/	/	/	/	/
(1) 手すりを設けているか (勾配1/12以下で高さ16cm以下又は1/20以下の傾斜部分は免除)	11/11	○	適			
(2) 前後の通路と識別しやすいものか	11/11	○	適			
(3) 両側に側壁又は立ち上がり部を設けているか	11/11	○	適			
駐車場 (政令第17条)	① 車いす使用者用駐車施設を設けているか (1以上)	11/11	○	適		
	(1) 幅は350cm以上であるか	11/11	○	適		
	(2) 利用居室までの経路が短い位置に設けられているか	11/11	○	適		
浴室等 (条例第21条)	① 表面は滑りにくい仕上げであるか	—				
	② 車いす使用者用浴室等を設けているか (1以上)	—				
	(1) 浴槽、シャワー、手すり等が適切に配置されているか	—				
	(2) 車いすで利用しやすいよう十分な空間が確保されているか	—				
	(3) 出入口の幅は80cm以上であるか	—				
(4) 出入口の戸は車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか	—					
標識 (政令第19条)	① エレベーターその他の昇降機、便所又は駐車施設があることの表示を見やすい位置に設けているか	11/11	○	適		
	② 標識は、内容が容易に識別できるものか(日本工業規格Z8210に適合しているか)	11/11	○	適		
案内設備 (政令第20条) (条例第23条)	① エレベーターその他の昇降機、便所又は駐車施設の配置を表示した案内板等があるか(配置を容易に視認できる場合は除く)	—				
	② エレベーターその他の昇降機、便所の配置を点字その他の方法(文字等の浮き彫り又は音による案内)により視覚障害者に示す設備を設けているか	—				
	③ 案内所を設けているか(①、②の代替措置)	11/11	○	適		
(1) 案内所は車いす使用者が利用できるものとしているか	11/11	○	適			

## 移動等円滑化経路（利用居室、車いす使用者用便房・駐車施設に至る1以上の経路に係る基準）

項 目	月日	確認方法	結果	不具合箇所の処理状況	備考
(政令第18条第2項第一号)	① 階段・段が設けられていないか（傾斜路又はエレベーターその他の昇降機を併設する場合は免除）	11/11	○	適	
出入口 (政令第18条第2項第2号)	① 幅は80cm以上であるか	11/11	○	適	
	② 戸は車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか	11/11	○	適	
廊下等 (政令第18条第2項第3号) (条例第22条第1項第1号)	① 幅は120cm以上であるか	11/11	○	適	
	② 区間50m以内ごとに車いすが転回可能な場所があるか	11/11	○	適	
	③ 戸は車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか	11/11	○	適	
	④ 授乳及びおむつ交換のできる場所を設けているか（条例第22条第1項第1号に掲げる特別特定建築物のうち、5,000㎡以上のものに限る）		—		
傾斜路 (政令第18条第2項第4号)	① 幅は120cm以上（階段に併設する場合は90cm以上）であるか		—		
	② 勾配は1/12以下（高さ16cm以下の場合は1/8以下）であるか		—		
	③ 高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場を設けているか		—		
エレベーター及びその乗降ロビー (政令第18条第2項第5号) (条例第22条第1項第2号)	① かごは必要階（利用居室又は車いす使用者用便房・駐車施設のある階、地上階）に停止する	11/11	○	適	
	② かご及び昇降路の出入口の幅は80cm以上であるか	11/11	○	適	
	③ かご及び昇降路の出入口に利用者を感じし、戸の閉鎖を自動的に制止できる装置を設けているか	11/11	○	適	
	④ かご及び昇降路の出入口の戸にガラス等をはめ込むなど、かごの外部から内部を見ることができ設備を設けているか	11/11	○	適	
	⑤ かごの奥行きは135cm以上であるか	11/11	○	適	
	⑥ かご内に鏡を設けているか	11/11	○	適	
	⑦ かご内の左右両側に手すりを設けているか	11/11	○	適	
	⑧ かご内に設ける制御装置には、非常の場合に外部の対応を表示する聴覚障害者に配慮した装置を設けているか	11/11	○	適	
	⑨ 乗降ロビーは水平で、150cm角以上であるか	11/11	○	適	
	⑩ かご内及び乗降ロビーに車いす使用者が利用しやすい制御装置を設けているか	11/11	○	適	
	(1)かご及び昇降路の出入口の戸の開扉時間を延長する機能を有したもののか	11/11	○	適	
	(2)呼びボタン付のインターホンを設けているか（かご内の制御装置のうち、1以上）	11/11	○	適	
	⑪ かご内に停止予定階・現在位置を表示する装置を設けているか	11/11	○	適	
⑫ 乗降ロビーに到着するかごの昇降方向を表示する装置を設けているか	11/11	○	適		
⑬ 不特定多数の者が利用する2,000㎡以上の建築物に設けるものの場合					
(1)かごの幅は、140cm以上であるか		—			
(2)かごは車いすが転回できる形状か		—			
(3)車いす使用者が利用しやすい制御装置をかご内の左右両面に設けているか		—			



移動等円滑化経路（利用居室、車いす使用者用便所・駐車施設に至る1以上の経路に係る基準）

項目	月日	確認方法	結果	不具合箇所の処理状況
(エレベーター及びその乗降ロビーの続き)	⑭ 不特定多数の者又は主に視覚障害者が利用するもの場合 ※5			
	(1)かご内に到着階・戸の閉鎖を知らせる音声装置を設けているか	11/11	○	適
	(2)かご内及び乗降ロビーに点字その他の方法(文字等の浮き彫り又は音による案内)により視覚障害者が利用しやすい制御装置を設けているか	11/11	○	適
	(3)かご内又は乗降ロビーに到着するかごの昇降方向を知らせる音声装置を設けているか	11/11	○	適
	(4)制御装置の各ボタンは押しボタンとしているか	11/11	○	適
(5)乗降ロビーに設ける制御装置の前の床面には、点状ブロックを敷設しているか	11/11	○		
特殊な構造又は使用形態のエレベーターその他の昇降機(政令第18条第2項第6号)	① エレベーターの場合			
	(1)段差解消機(平成12年建設省告示第1413号第1第七号のもの)であるか		—	
	(2)かごの幅は70cm以上であるか		—	
	(3)かごの奥行きは120cm以上であるか		—	
	(4)かごの床面積は十分であるか(車いす使用者がかご内で方向を変更する必要がある場合)		—	
② エスカレーターの場合				
(1)車いす使用者用エスカレーター(平成12年建設省告示第1417号第1ただし書のもの)であるか		—		
敷地内の通路(政令第18条第2項第7号)(条例第22条第1項第3号)	① 幅は120cm以上であるか	11/11	○	適
	② 区間50m以内ごとに車いすが転回可能な場所があるか	11/11	○	適
	③ 戸は車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか	11/11	○	適
	④ 通路を横断する排水溝のふたは、つえ、車いすのキャスター等が落ちないものとしているか	11/11	○	適
	⑤ 傾斜路			
	(1)幅は120cm以上(段に併設する場合は90cm以上)であるか	11/11	○	適
	(2)勾配は1/12以下(高さ16cm以下の場合には1/8以下)であるか	11/11	○	適
(3)高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場を設けているか(勾配1/20以下の場合には免除)	11/11	○	適	
(政令第18条第3項)	⑥ 上記①から⑤は地形の特殊性がある場合は車寄せから建物出入口までに限る		—	

視覚障害者移動等円滑化経路（道等から案内設備までの1以上の経路に係る基準）

案内設備までの経路(政令第21条)(条例第24条)	① 線状ブロック等・点状ブロック等の敷設又は音声誘導装置の設置(風除室で直進する場合は免除) ※6	11/11	○	適
	② 車路に接する部分に点状ブロック等を敷設しているか	11/11	○	適
	③ 段・傾斜がある部分の上下端に近接する部分に点状ブロック等を敷設しているか ※7	11/11	○	適
	④ 経路上に設ける段を回り段としていないか	11/11	○	適

備考	1 月日欄には、項目の確認を実施した月日を記入する。 2 確認方法欄には、「立会目視」(A)、「立会採寸」(B)、「施工報告」(C)、「写真」(D)、「その他」(E)のいずれかの方法を記入する。 3 結果欄には、「適」、「不適」を記入する。
----	--

## バリアフリー関係の注意事項

※ 「政令」等の略語については、次のとおり。

「政令」は、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法施行令

「条例」は、大阪府福祉のまちづくり条例

「規則」は、大阪府福祉のまちづくり条例施行規則

「告示」は、国土交通省告示

※1 告示(規則)で定める以下の場合を除く(告示第1497号・規則第3条)

・勾配が1/20以下の傾斜部分の上下端に近接する場合(エスカレーター除く)

・高さ16cm以下で勾配1/12以下の傾斜部分の上下端に近接する場合  
(エスカレーター除く)

・自動車車庫に設ける場合

※2 告示(規則)で定める以下の場合を除く(告示第1497号・規則第4条)

・自動車車庫に設ける場合

・段部分と連続して手すりを設ける場合

※3 告示(規則)で定める以下の場合を除く(告示第1497号・規則第5条)

・勾配が1/20以下の傾斜部分の上下端に近接する場合

・高さ16cm以下で勾配1/12以下の傾斜部分の上下端に近接する場合

・自動車車庫に設ける場合

・傾斜部分と連続して手すりを設ける場合

※4 規則で定める以下の場合を除く(規則第7条)

・自動車車庫に設ける場合

※5 告示で定める以下の場合を除く(告示第1494号)

・自動車車庫に設ける場合

※6 告示で定める以下の場合を除く(告示第1497号)

・自動車車庫に設ける場合

・受付等から建物出入口を容易に視認でき、道等から当該出入口まで線状ブロック等、  
点状ブロック等や音声誘導装置で誘導する場合

※7 告示(規則)で定める以下の部分を除く(告示第1497号・規則第8条)

・勾配が1/20以下の傾斜部分の上下端に近接する場合

・高さ16cm以下で勾配1/12以下の傾斜部分の上下端に近接する場合

・段部分又は傾斜部分と連続して手すりを設ける踊場等



# 建築設備工事監理報告書

平成 26年 11月 28日

(株)日本確認検査センター 様

工事の監理状況を報告します。  
この監理報告書は事実に相違ありません。

工事監理者 ( 1 ) 建築士 ( 大臣 ) 登録第 [REDACTED] 号  
資格氏名 [REDACTED]  
建築士事務所名 ( 1級 ) 建築士事務所 ( 大阪府 ) 知事登録 ( チ ) 第 8143号  
株式会社 建綜研 TEL 06-6454-1630

建築設備に関し 建築設備士 ( ) 登録第 [REDACTED] 号  
意見を聴いた者 [REDACTED] (印)  
の氏名・勤務先名 ( ) 登録第 [REDACTED] 号 TEL [REDACTED]

建築工事施工者 (特-23) 建設業の許可 (大臣・知事) 第 3059 号  
登録名 富田建設株式会社  
氏名 富田泰富

設備工事施工者 (特-22) 建設業の許可 (大臣・知事) 第 8073 号  
登録業種名 株式会社 旭設機工業所 代表取締役 川口八壽一  
氏名 (特-22) 建設業の許可 (大臣・知事) 第 99271 号  
株式会社 金沢電機大東支店 支店長 金 沢 浩 樹  
( ) 建設業の許可 (大臣・知事) 第 [REDACTED] 号

## 概 要

建築主氏名	大東市長 京坂浩一			
敷地の地名地番	大阪府大東市谷川一丁目1番1号			
確認年月日・番号	平成 26年 7月 24日 第 NK14-0486 号	計画変更確認 年月日・番号	平成 26年 11月 25日 第 NK14-1014 号	
建築物の名称	市民会館2階大集会室増築他工事			
建築物の概要	用途	集会場 (市民会館)	工事種別	増築
	階数	5	建築面積	2194.933 m <sup>2</sup>
建築設備の概要 (該当するものを) ○で囲む	①	機械換気設備	5	給水、排水その他の配管設備
	②	感知器と連動して閉鎖する防火設備	6	避雷設備
	③	排煙設備 (自然・機械・加圧)	7	ガス設備 (3階以上の共同住宅のみ)
	④	非常用照明装置	8	シックハウス対策用換気設備

注) 計画変更確認年月日・番号は最新のものを記載すること。

# 1. 機械換気設備

報告事項	状況等
1. 火を使用する室、居室 (1) ファンの種類 ○窓用換気扇、レンジフード等の小型ファン(表1に記載すること) ○フード及びダクトに接続する中・大型ファン(表2に記載すること) (2) ファン及びダクト取付状態、運転状況	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 良 否
2. 直接外気に面しない便所 ○ファン及びダクトの取付状態、運転状況	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 良 否
3. 換気無窓の居室 ○ファン及びダクトの取付状態、運転状況	<input checked="" type="radio"/> 有 無 <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> 良 否
4. 集会場、劇場等の用途に供する居室 ○ファン及びダクトの取付状態、運転状況	<input checked="" type="radio"/> 有 無 <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> 良 否
5. 中央管理方式の空気調和設備による居室 (1) 空気調和方式 [全空気方式・全水方式・空気-水方式・冷媒方式] (2) ダクト及び機器の取付状態 (3) 中央管理システムの監視状況と制御状況	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 良 否 良 否

6. ダクトの材料とその最大寸法 { 亜鉛鉄板 ( 700 × 700 ) ・スパイラル ( φ ) ・その他 ( ) }	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
7. 延焼の恐れのある外壁の換気孔に設ける防火設備等 (1) 防火設備の種類 { 防火ダンパー・防火おおい (100cm <sup>2</sup> 以下) ・その他 ( ) }	
(2) 大臣認定等 (3) 検査口及び天井点検口の設置 (4) 貫通部のモルタルによる穴埋め及び取付状態 (5) 防火ダンパー等の作動状況	有 無 有 無 良 否 良 否
8. 防火区画等に設ける防火設備等 (感知器と連動するものについては様式4に記載すること。) (1) 防火設備の種類 { 防火ダンパー・その他 ( ) }	有 無 有 無 良 否 良 否
◎指示事項とその手直し経過	

表1	火気使用箇所	使用器具名と燃料消費量 (kW)	実風量 (m <sup>3</sup> /h)

注1: 3、4、5の各換気設備の風量測定結果は様式3に記載のこと。  
 注2: 窓用換気扇については定格風量を記載してもよい。  
 注3: 表2中の係数N(40、30、20)については、H12建告第1826号に規定する排気フードの形状によること。

表2	火気使用箇所	係数N	理論廃ガス量 K (m <sup>3</sup> /kWh)	使用器具名と燃料消費量 q (kW)	燃料消費量合計 Q = Σ q	必要換気量 V = NKQ (m <sup>3</sup> /h)	実風量 (m <sup>3</sup> /h)

(機械換気設備)  
(空気調和設備)

風量測定記録

測定日 平成 26 年 11 月 20 日

測定者

氏名

会社名

株式会社 丸九設備工業所

総実測外気量		m <sup>3</sup> /h		総実測送風量		m <sup>3</sup> /h		=		%	
機器番号	場所	床面積 Af (m <sup>2</sup> )	占有面積 N (m <sup>2</sup> /人)	所要換気量 V=20Af/N (m <sup>3</sup> /h)	実測風量 (m <sup>3</sup> /h)	新鮮外気量 (m <sup>3</sup> /h)					
	1階 食堂	214.84	3	1,440	900×2台(F2) 1800	(測定不可)					
	1階 厨房	137.63	3	920	900×2台(F2) 1800						
	1階 警備員室	22.70	3	160	600(F1)						
	2階 事務室	63.55	3	430	600(F1)						
	5階 事務室1	304.85	3	2,040	600×4台(F1) 2400						
	5階 事務室2	196.98	3	1,320	600×3台(F1) 1800						
	5階 会議室1,2	70.53	3	480	600×2台(F1) 1200						

注1：空気調和機の場合は、1基毎に別紙に記録のこと。

注2：リターン無しで、100%新鮮外気による場合は「新鮮外気量」の欄に記載しないこと。

50

## 2. 感知器と連動して閉鎖する防火設備

報告事項

状況等

<p>1. 感知器と連動する防火戸等（防火設備等）</p> <p>(1) 防火戸等を設置する区画</p> <p style="padding-left: 20px;">面積区画・竪穴区画・異種用途区画 ・その他（                                     ）</p> <p>(2) 防火戸等を設置した箇所数〔                     箇所〕</p> <p>(3) 感知器の種類</p> <p style="padding-left: 20px;">〔煙感知器・熱感知器・その他（                     ）〕</p> <p>(4) 感知器の取付状態（防火設備から10m以内）及び感知状況</p> <p>(5) 防火戸等の取付状態</p>	<p>有 <input checked="" type="radio"/> 無</p> <p>良 <input checked="" type="radio"/> 否</p> <p>良 <input checked="" type="radio"/> 否</p>
<p>2. 感知器と連動する防火ダンパー</p> <p>(1) 防火ダンパーを設置する区画</p> <p style="padding-left: 20px;">面積区画・竪穴区画・異種用途区画 ・その他（                                     ）</p> <p>(2) 防火ダンパーを設置した箇所数〔                     箇所〕</p> <p>(3) 感知器の種類</p> <p style="padding-left: 20px;">〔煙感知器・熱感知器 ・その他（                                     ）〕</p> <p>(4) 感知器の取付状態（防火ダンパーから10m以内）及び感知状況</p> <p>(5) 防火ダンパーの取付状態及び作動状況</p>	<p>有 <input checked="" type="radio"/> 無</p> <p>良 <input type="radio"/> 否</p> <p>良 <input type="radio"/> 否</p>
<p>3. 連動制御器</p> <p>(1) 設置場所〔                                     〕</p> <p>(2) 制御回線数〔防火戸等             回線・防火ダンパー             回線〕</p> <p>(3) 制御状況</p>	<p>良 <input checked="" type="radio"/> 否</p>
<p>4. 連動制御器と自動閉鎖装置間の配線</p> <p>(1) 電線の種類</p> <p style="padding-left: 20px;">耐火電線・<u>耐熱電線</u>・耐火ケーブル・耐熱ケーブル ・その他（                                     ）</p>	<p>良 <input type="radio"/> 否</p>

<p>(2) 配線工事の種類</p> <p style="padding-left: 20px;">〔配管工事・<u>ケーブル工事</u> ・その他（                                     ）〕</p> <p>(3) 配線方法の種別</p> <p style="padding-left: 20px;">〔RC埋設・<u>天井いんぺい</u>・露出 ・その他（                                     ）〕</p> <p>(4) 配線の状態</p>	<p>良 <input type="radio"/> 否</p>
<p>◎ 指示事項とその手直し経過</p>	
<p>注：煙感知器と連動する防火ダンパーにあつては、当該防火ダンパーと、ダクトの換気孔等及び感知器の取付位置を明記した平面図、さらに連動表を添付すること。</p>	

### 3. 排煙設備 (1/2)

報告事項	状況等									
<p>(3) 排煙状況 (風量測定結果を添付すること。)</p>										
<p><b>C 2. 手動開放装置</b></p>										
<p>(1) 開放方式 [ ]</p>		良 否								
<p>(2) 使用方法の表示</p>		良 否								
<p>(3) 煙感知器と連動する方式との併用</p>		良 否								
<p>(4) 取付状態</p>		良 否								
<p><b>C 3. 防煙区画</b></p>										
<p>(1) 防煙垂れ壁 (固定式)</p> <p style="margin-left: 20px;">○位置と丈及び材質</p> <p style="margin-left: 20px;">○取付状態</p>		有 無 良 否 良 否								
<p>(2) 防煙垂れ壁 (煙感知器連動式)</p> <p style="margin-left: 20px;">○位置と丈及び材質</p> <p style="margin-left: 20px;">○取付状態及び作動状況</p> <p style="margin-left: 40px;">※連動制御器については様式4に記載のこと。</p>		有 無 良 否 良 否								
<p>(3) 防火防煙シャッター等による他の排煙方式との防煙区画 (様式4に記載のこと。)</p>		良 否								
<p><b>C 4. 排煙機</b></p>										
<p>(1) 仕様 (承認図面等を添付すること。)</p>										
<p>(2) 大臣認定等</p>		有 無								
<p>(3) 設置場所</p> <div style="margin-left: 40px;"> <table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;">{</td> <td style="border: none; padding: 0 10px;">階</td> <td style="border: none; padding: 0 10px;">室</td> <td style="border: none;">(床置き・天吊・天井いんべい)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none; padding: 0 10px;">階</td> <td style="border: none; padding: 0 10px;">室</td> <td style="border: none;">(床置き・天吊・天井いんべい)</td> </tr> </table> </div>		{	階	室	(床置き・天吊・天井いんべい)		階	室	(床置き・天吊・天井いんべい)	
{	階	室	(床置き・天吊・天井いんべい)							
	階	室	(床置き・天吊・天井いんべい)							
<p>(4) 排煙口の開放に伴う自動起動状況</p>		良 否								
<p><b>C 5. 排煙ダクト</b></p>										
<p>(1) ダクトの取付及び断熱材の被覆の状態</p>		良 否								
<p>(2) 温度ヒューズ付防火ダンパーの設置</p> <p style="margin-left: 20px;">○大臣認定等</p> <p style="margin-left: 20px;">○検査口及び天井点検口の設置</p> <p style="margin-left: 20px;">○貫通部のモルタル等による穴埋め</p> <p style="margin-left: 20px;">○取付状態、作動状況</p>		有 無 良 否 良 否 良 否								
<p><b>A. 自然排煙設備</b></p>										
<p><b>A 1. 排煙口 (容易に開閉できる窓を用いる場合は記載不要。)</b></p>										
<p>(1) 排煙区画及び排煙口</p> <p style="margin-left: 20px;">[区画数                      区画・排煙口数                      箇所]</p>		(有) 無								
<p>(2) 排煙口の大きさや位置</p>		良 否								
<p>(3) 取付状態及び手動開放装置による作動状況</p>		良 否								
<p><b>A 2. 手動開放装置</b></p>										
<p>(1) 開放方式 [ ]</p>										
<p>(2) 使用方法の表示</p>		(良) 否								
<p>(3) 取付状態</p>		良 否								
<p><b>A 3. 防煙区画</b></p>										
<p>(1) 防煙垂れ壁 (固定式)</p> <p style="margin-left: 20px;">○位置と丈及び材質</p> <p style="margin-left: 20px;">○取付状態</p>		有 無 良 否 良 否								
<p>(2) 防煙垂れ壁 (煙感知器連動式)</p> <p style="margin-left: 20px;">○位置と丈及び材質</p> <p style="margin-left: 20px;">○取付状態及び作動状況</p> <p style="margin-left: 40px;">※連動制御器については様式4に記載のこと。</p>		有 無 良 否 良 否								
<p><b>B. 建告第1436号第四号ハの各号を適用した室又は居室</b></p>										
<p>[①・②・③・④]</p>		有 無								
<p>(1) 間仕切りによる他の部分との防煙区画状況</p>		良 否								
<p>(2) 出入口部分の防煙区画状況</p>		良 否								
<p>(3) 内装制限による室内の仕上げ状況</p>		良 否								
<p><b>C. 機械排煙設備</b></p>										
<p><b>C 1. 排煙口</b></p>										
<p>(1) 排煙区画及び排煙口</p> <p style="margin-left: 20px;">[区画数                      区画・排煙口数                      箇所]</p>		有 無								
<p>(2) 取付状態及び手動開放装置による作動状況</p>		良 否								

### 3. 排煙設備 (2/2)

報告事項	状況等	(4) 排煙口の開放に伴う自動起動状況 (5) 据付状態及び運転状況	
D. 加圧排煙設備	有 無	D7. 給気ダクト (1) ダクトの材質及び取付状態 (2) 防火防煙区画貫通部のモルタル等による穴埋め	良 否 良 否
D.1. 加圧排煙の種類		E. 予備電源等及び監視制御	有 無
(1) 各室における給気及び排煙する方式		E1. 予備電源等	有 無
(2) 複数の室を統合した給気を行い各室で排煙する方式		(1) 自家発電方式	有 無
(3) 給気室の位置〔 〕		○自主認定制度による認定（社）日本内燃力発電設備協会等	有 無
D2. 排煙口		○停電検出電源切替装置の作動状況	有 無
(1) 排煙区画及び排煙口		○据付状態、運転状況	良 否
〔区画数            区画・排煙口数            箇所〕		(2) エンジン直結方式	良 否
(2) 位置及び大きさ	良 否	○停電検出電源切替装置の作動状況	有 無
(3) 取付状態及び手動開放装置による作動状況	良 否	○据付状態、運転状況	良 否
(4) 排煙状況（風量測定結果を添付すること。）	良 否	E2. 電気配線	
D3. 手動開放装置		(1) 電線の種類	
(1) 開放方式〔 〕	良 否	〔耐火電線・耐熱電線・耐火ケーブル・耐熱ケーブル ・その他（ ）〕	
(2) 使用方法の表示	有 無	(2) 配線工事の種類	
(3) 煙感知器と連動する方式との併用	良 否	〔配管工事・ケーブル工事 ・その他（ ）〕	
(4) 取付状態	良 否	(3) 配線方法の種別	
D4. 防煙区画		〔R C埋設・天井いんべい・露出 ・その他（ ）〕	
(1) 準耐火構造の壁、床による他の排煙方式の部分との区画	良 否	(4) 配線の状態	良 否
(2) 給気室における防火戸等の構造及び給気時の開閉状況	良 否	(5) 使用方法の表示	良 否
(3) 連絡経路に設ける戸の構造及び給気時の開閉状況	良 否	(6) 取付状態	良 否
(4) 圧力調整装置等の設置	良 否	E3. 中央管理室	有 無
D5. 給気口		中央管理室における監視と制御状況	良 否
(1) 位置及び大きさ	良 否		
(2) 給気状況（風量測定結果を添付すること。）	良 否	◎ 指示事項とその手直し経過	
D6. 送風機			
(1) 仕様（承認図面等を添付すること。）			
(2) 大臣認定等	有 無		
(3) 設置場所			
〔            階            室（床置き・天吊・天井いんべい） 階            室（床置き・天吊・天井いんべい） 〕			





## 4. 非常用照明装置

### 報告事項

### 状況等

**1. 電池内蔵式**

- (1) 配線の方式 専用線・三線引
- (2) 分電盤に非常用の照明回路である旨の赤文字表示
- (3) 照明器具
  - 大臣認定等
  - 取付状態及び点灯状況 (照度測定結果を報告のこと。)

(良) 否  
(有) 無  
(良) 否

**2. 予備電池別置き**

(1) 予備電源の種類

- 蓄電池・蓄電池と自家発電機の併用
- ・その他 ( )
- 自主認定制度による認定
- 稼働状況

有 無  
良 否

(2) 停電検出予備電源切替装置の作動状況及び復帰状況

(3) 予備電源の据付状況

(4) 電気配線

- 電線の種類
- 耐火電線・耐熱電線・耐火ケーブル・耐熱ケーブル
- ・その他 ( )
- 配線工事の種類
- 配管工事・ケーブル工事
- ・その他 ( )

良 否  
良 否

○配線方法の種別

- R C埋設・天井いんべい・露出
- ・その他 ( )

○配線の状態

良 否  
良 否

(5) 分電盤に非常用の照明回路である旨の赤文字表示

(6) 照明器具

- 大臣認定等
- 取付状態及び点灯状況 (照度測定結果を報告のこと。)

有 無  
良 否

◎ 指示事項とその手直し経過

注1: 照度測定は、夜間等、外光の影響のない時間帯に実施すること。

注2: 測定箇所は、非常用の照明器具を設置した各居室及び廊下、階段の各々において、比較的照度の低い箇所で行うこと。

注3: 測定結果は、非常用の照明器具の取付位置が明示された平面図上の測定箇所に測定値を記入したものを別途添付すること。

ただし、非常用の照明器具の設置台数が数台程度の場合は、下表を用いてもよい。

○測定日時 平成 26年 11月 20日 測定時刻 午前 午後 6時00分

○測定者 氏名 XXXXXXXXXX

会社名 株式会社金沢電機大東支店

場 所	非常用照明器具の種類		実測値 (lx)	
	白熱灯(W)×灯	蛍光灯(W)×灯	最高	最低
別紙図に記載	×	×		
	×	×		
	×	×		
	×	×		
	×	×		

8. シックハウス対策用換気設備		風量測定記録			測定日 平成26年11月28日							
					測定者 氏名 [REDACTED] 会社名 桜加設備工業所							
報告事項	状況等	換気エリア 番号	換気 種別	室名	床面積 A (m <sup>2</sup> )	平均天井高 h (m)	気積 V=A×h (m <sup>3</sup> )	換気回数 N (回/h)	所要換気量 Q=V×N (m <sup>3</sup> /h)	実測風量 (m <sup>3</sup> /h)		備考
										給気	排気	
1. 換気計画 ○換気エリア、換気経路、間仕切り建具等の通気性の確認 (換気計画を示した図の添付)	◎ 否	増築	第3種	集会場	377.6	6	2265.6	0.3	680	-	70 537	
2. 換気種別 ○換気方法の種別 (第1種・第2種・第3種) の確認	◎ 否											
3. 換気回数 ○必要換気回数 (0.3・0.5・0.7回/h) の確認	◎ 否	改修		集会場	303.6	3	910.8	0.3	274		6 537	
4. 換気設備スイッチの措置 ○常時運転を指示する注意書き等、シックハウス対策用としての配慮ができていないかの確認	◎ 否											
5. 換気装置の取付状態、運転状況	◎ 否											
6. 給排気口の状態 ○給排気口の有無、位置、大きさの確認 ○雨除け・虫除け対策の確認	◎ 否											
7. 換気ダクトの施工状況 ○防火区画貫通措置等の確認 ○ダクト材質の確認	◎ 否											
8. 換気装置の能力 (風量測定記録) ○次のイ～ハのいずれかの方法により風量を確認し、右風量測定記録の実測風量欄に記入する。 イ. 実測風量測定 ロ. 換気装置ダクト等の圧力損失計算 (計算書、資料の添付) ハ. 定格風量 (カタログ等資料の添付)	◎ 否											
※上記イ～ハは壁付け換気扇等の場合のみ適用可		◎指示事項とその手直し経過										

# メタルコンパック (エクストラグレード)

## スタンダードタイプ 台所用



■運動式シャッター 引きひも付  
 20cm EX-20LMP<sub>e</sub> 標準価格 19,600円(税別)  
 25cm EX-25LMP<sub>e</sub> 標準価格 21,200円(税別)

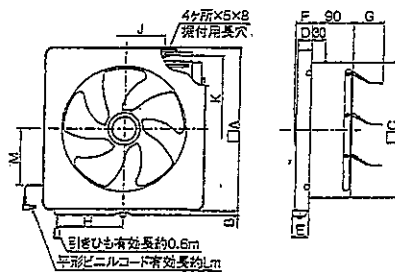
■運動式シャッター・遠隔付 引きひも付  
 30cm EX-30FMP<sub>e</sub> 標準価格 26,300円(税別)  
 ●風量強弱 2段切換

■電気式シャッター 引きひもなし  
 20cm EX-20EMP<sub>e</sub> 標準価格 22,500円(税別)  
 25cm EX-25EMP<sub>e</sub> 標準価格 24,600円(税別)  
 30cm EX-30EMP<sub>e</sub> 標準価格 27,900円(税別)

- 共通特長
- 本体薄型設計
  - 本体・油受けは銅板製、羽根はアルミ製
  - コンセント取付会具同梱
  - キッチンフード内据付け可

●防火区画に設置する場合は、防火ダンパー付ウェザーカバーとの併用が必要です。  
 ●フィルター付タイプは下部をご覧ください。

■外形図  
 EX-20LMP<sub>e</sub>  
 EX-20EMP<sub>e</sub>  
 EX-25LMP<sub>e</sub>  
 EX-25EMP<sub>e</sub>  
 EX-30FMP<sub>e</sub>  
 EX-30EMP<sub>e</sub>



木枠内の寸法は63ページを参照ください。

※防火ダンパー付ウェザーカバーを併用される場合は、壁厚を90mm以上確保してください。ただし、銅板製は115mm以上確保してください。  
 ※電気式には引きひもがありません。  
 ※引きひもの位置は変更できません。

(単位mm)

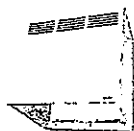
■変化寸法表 (単位mm)

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
EX-20EMP <sub>e</sub>								—				
EX-25LMP <sub>e</sub>	350	10	290	30	35	36	67	141	170	315	0.6	122
EX-25EMP <sub>e</sub>								—				
EX-30FMP <sub>e</sub>	400	15	340	45	46	48	83	166	220	365	1.0	142
EX-30EMP <sub>e</sub>								—				

電源電圧 100V

形名	給排	消費電力 (W)		風量 (m³/h)		騒音 (dB)		質量 (kg)
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
EX-20LMP <sub>e</sub>	排	13	16	552	606	35.5	38	2.8
EX-25LMP <sub>e</sub>	排	21.5	25	888	918	36.5	37.5	3.2
EX-30FMP <sub>e</sub>	排強弱	30	35	1212	1206	38	37.5	4.0
EX-20EMP <sub>e</sub>	排	14	17	552	606	35.5	38	2.9
EX-25EMP <sub>e</sub>	排	22.5	26	888	918	36.5	37.5	3.3
EX-30EMP <sub>e</sub>	排	31	36	1212	1206	38	37.5	4.1

## システム部材

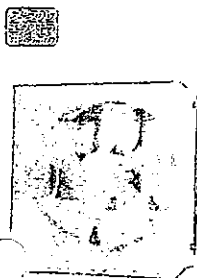


■キッチンフード用  
**P-60H2** 標準価格 22,600円(税別)  
 ●フード上部にも吸込口を設けてあるので、効率の良い排気ができます。  
 ※詳細は199ページをご覧ください。



■キッチンフード専用グリッドスタイルタイプ  
**P-60GF-M** 標準価格 8,300円(税別)  
 ●キッチンフードに取付けて使用。フード内と換気扇の汚れを少なくします。  
 ※詳細は199ページをご覧ください。

## ワンタッチフィルター 台所用/再生形・メタルタイプ



(写真は EX-25EMP<sub>e</sub>-F)

■運動式シャッター 引きひも付  
 20cm EX-20LMP<sub>e</sub>-F 標準価格 24,100円(税別)  
 25cm EX-25LMP<sub>e</sub>-F 標準価格 25,700円(税別)

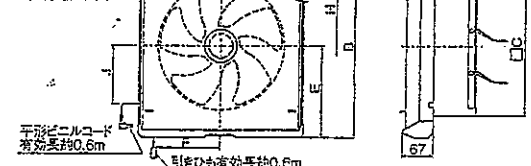
■電気式シャッター 引きひもなし  
 20cm EX-20EMP<sub>e</sub>-F 標準価格 28,100円(税別)  
 25cm EX-25EMP<sub>e</sub>-F 標準価格 30,200円(税別)

■電気式シャッター・遠隔付 引きひもなし  
 25cm EX-25EFM<sub>e</sub> 標準価格 37,900円(税別)

- 風量強弱 2段切換
- 切替スイッチはシステム部材 (P-02・03SWR) または市販品をご使用ください。  
 ●換気扇遠隔スイッチは、取扱ブザーのないタイプをご使用ください。  
 ●遠隔器を使用しますと換気扇は必ず遠隔器となります。

- 共通特長
- 本体薄型設計
  - 本体・油受けは銅板製、羽根はアルミ製
  - キッチンフード内据付け可
  - コンセント取付会具同梱 (EX-25EFM<sub>e</sub>を除く)

■外形図  
 EX-20LMP<sub>e</sub>-F  
 EX-20EMP<sub>e</sub>-F  
 EX-25LMP<sub>e</sub>-F  
 EX-25EMP<sub>e</sub>-F



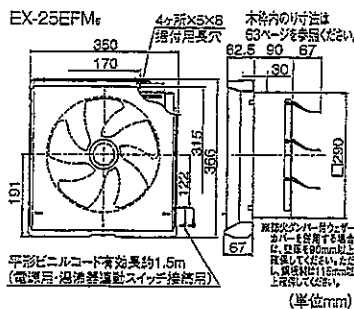
木枠内の寸法は63ページを参照ください。

※防火ダンパー付ウェザーカバーを併用される場合は、壁厚を90mm以上確保してください。ただし、銅板製は115mm以上確保してください。  
 ※電気式には引きひもがありません。  
 ※引きひもの位置は変更できません。

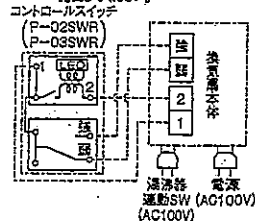
(単位mm)

■変化寸法表 (単位mm)

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J
EX-20EMP <sub>e</sub> -F						—			
EX-25LMP <sub>e</sub> -F	350	366	290	67	191	141	170	315	122
EX-25EMP <sub>e</sub> -F						—			



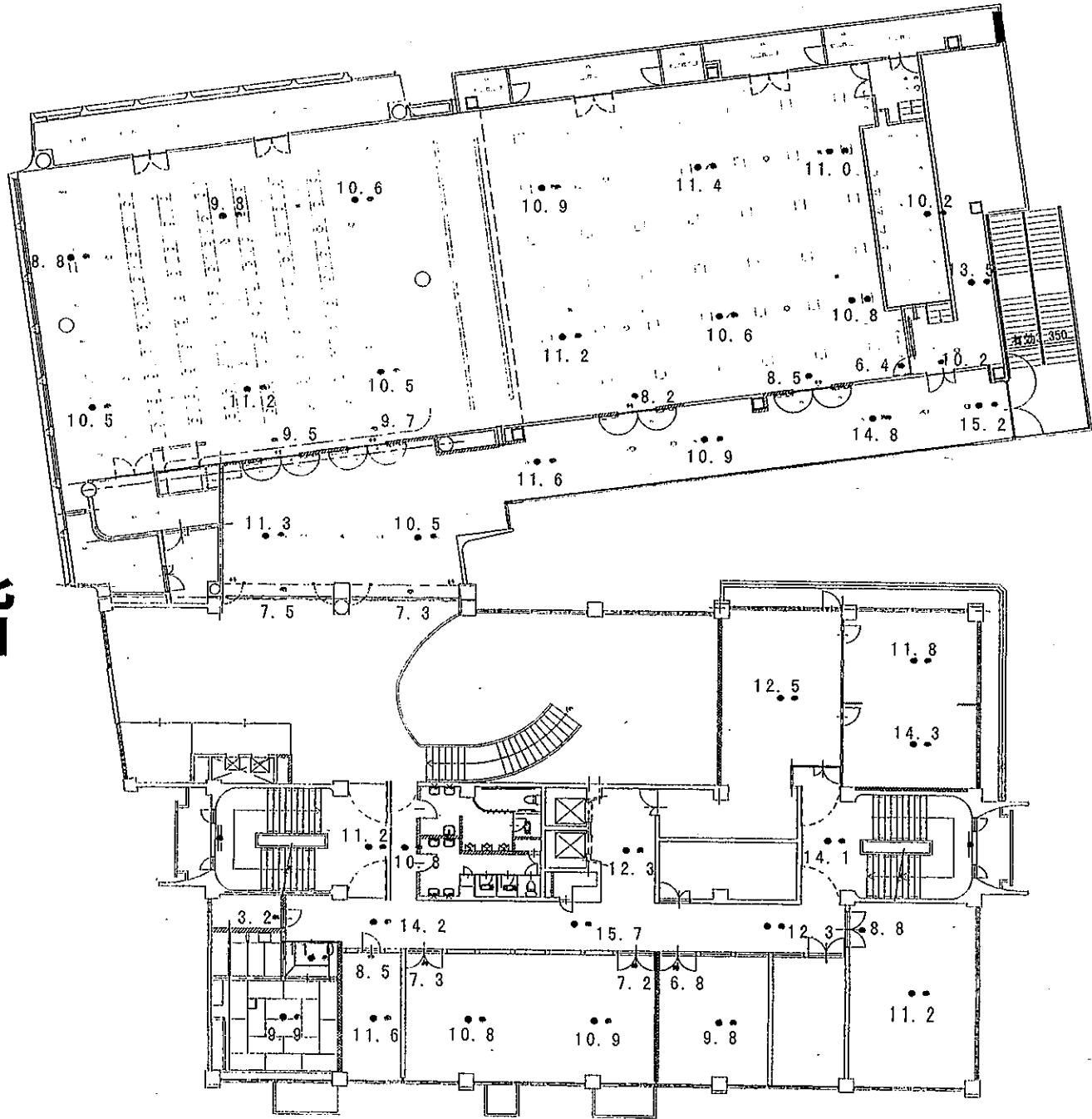
■接続図 ※切替スイッチはシステム部材 (P-02・03SWR) または市販品をご使用ください。  
 ※接続部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。



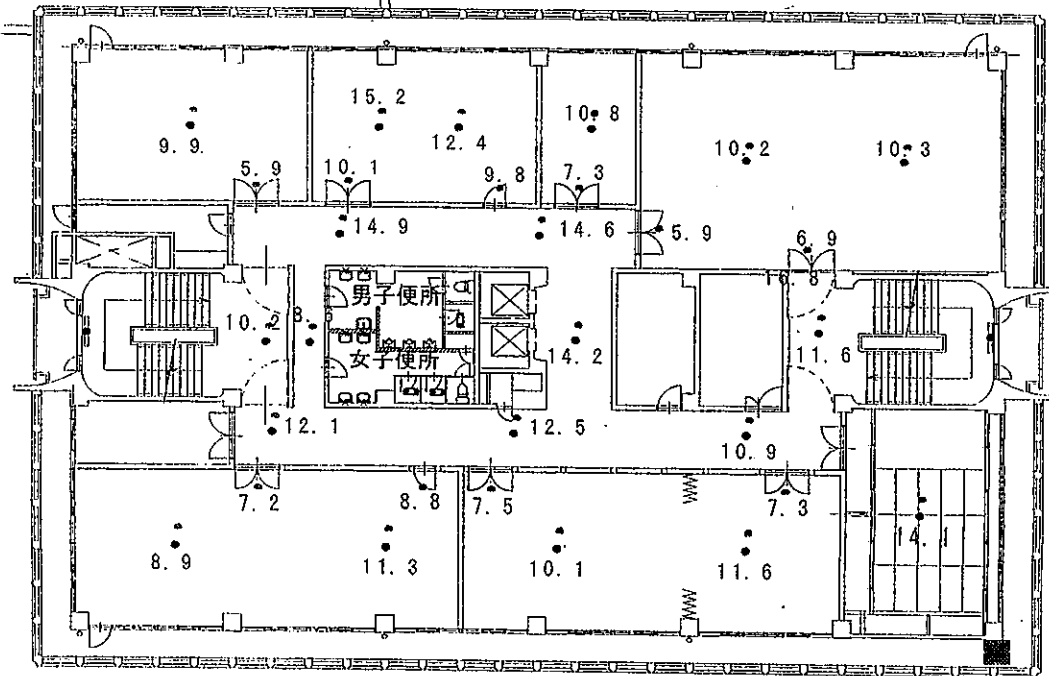
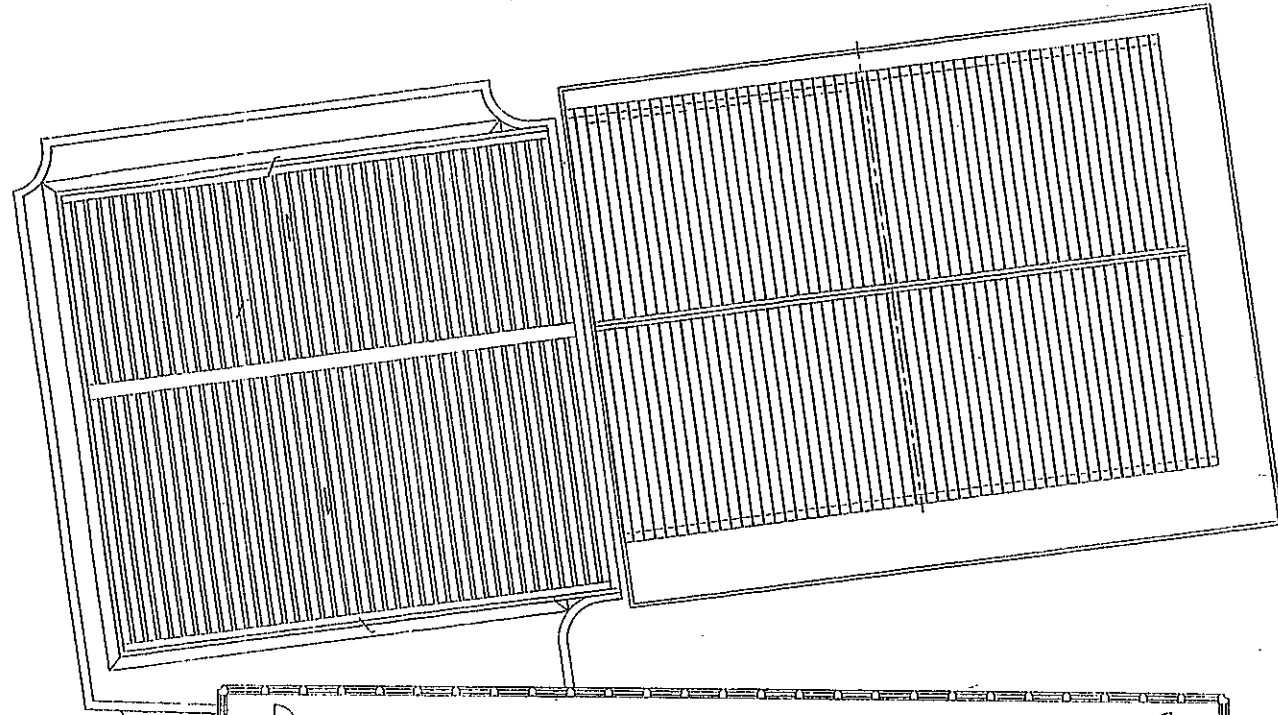
形名	給排	消費電力 (W)		風量 (m³/h)		騒音 (dB)		質量 (kg)
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
EX-20LMP <sub>e</sub> -F	排	13.5	16.5	504	540	34.5	36.5	3.1
EX-25LMP <sub>e</sub> -F	排	21	24.5	738	750	35	35.5	3.6
EX-20EMP <sub>e</sub> -F	排	14.5	17.5	504	540	34.5	36.5	3.2
EX-25EMP <sub>e</sub> -F	排	22	25	738	750	35	35.5	3.7
EX-25EFM <sub>e</sub>	排強弱	22	25	738	750	35	35.5	3.9
	排	17	18	552	534	28	27.5	

※交換用フィルターは56ページをご覧ください。

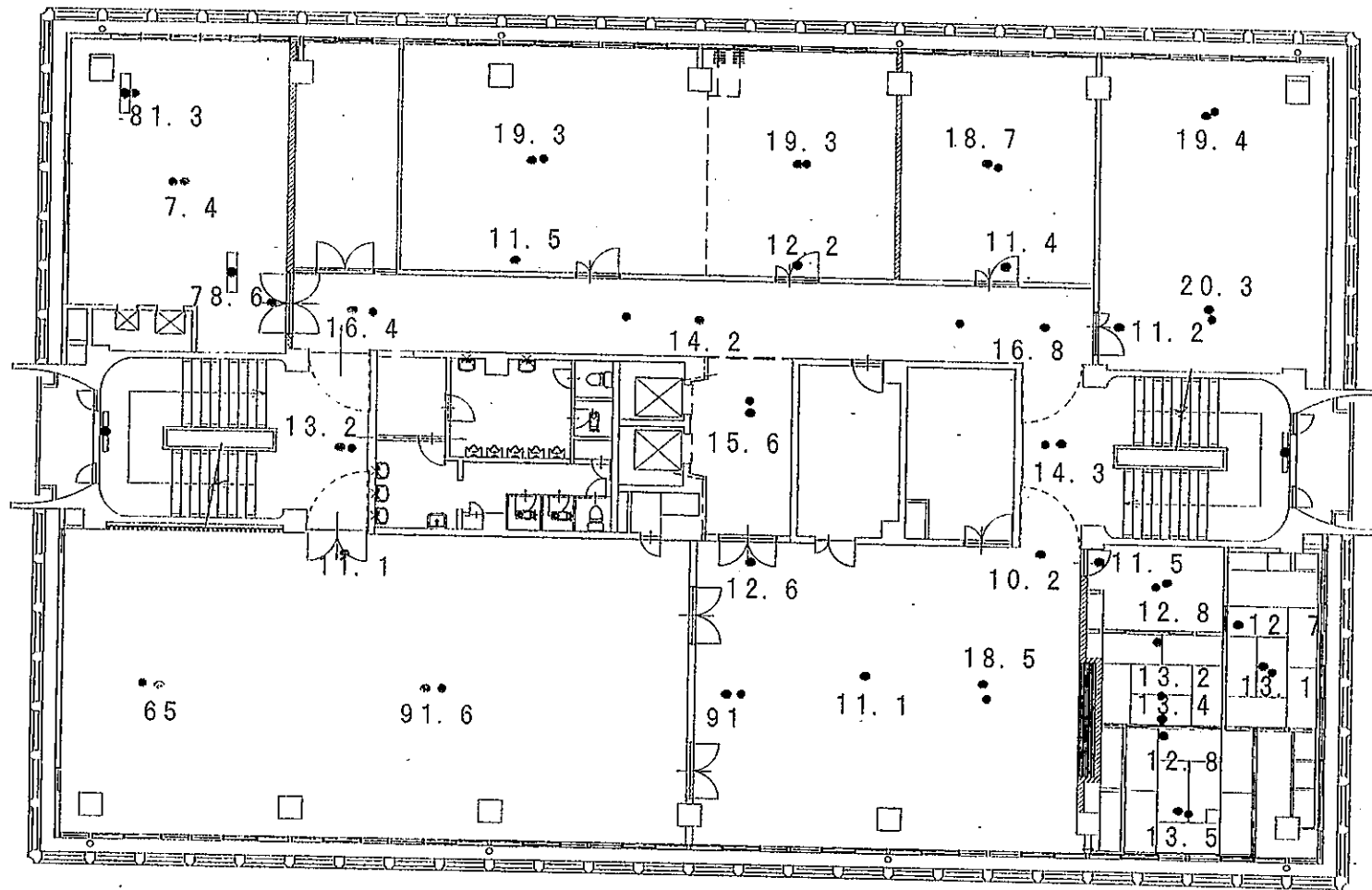
# 2階



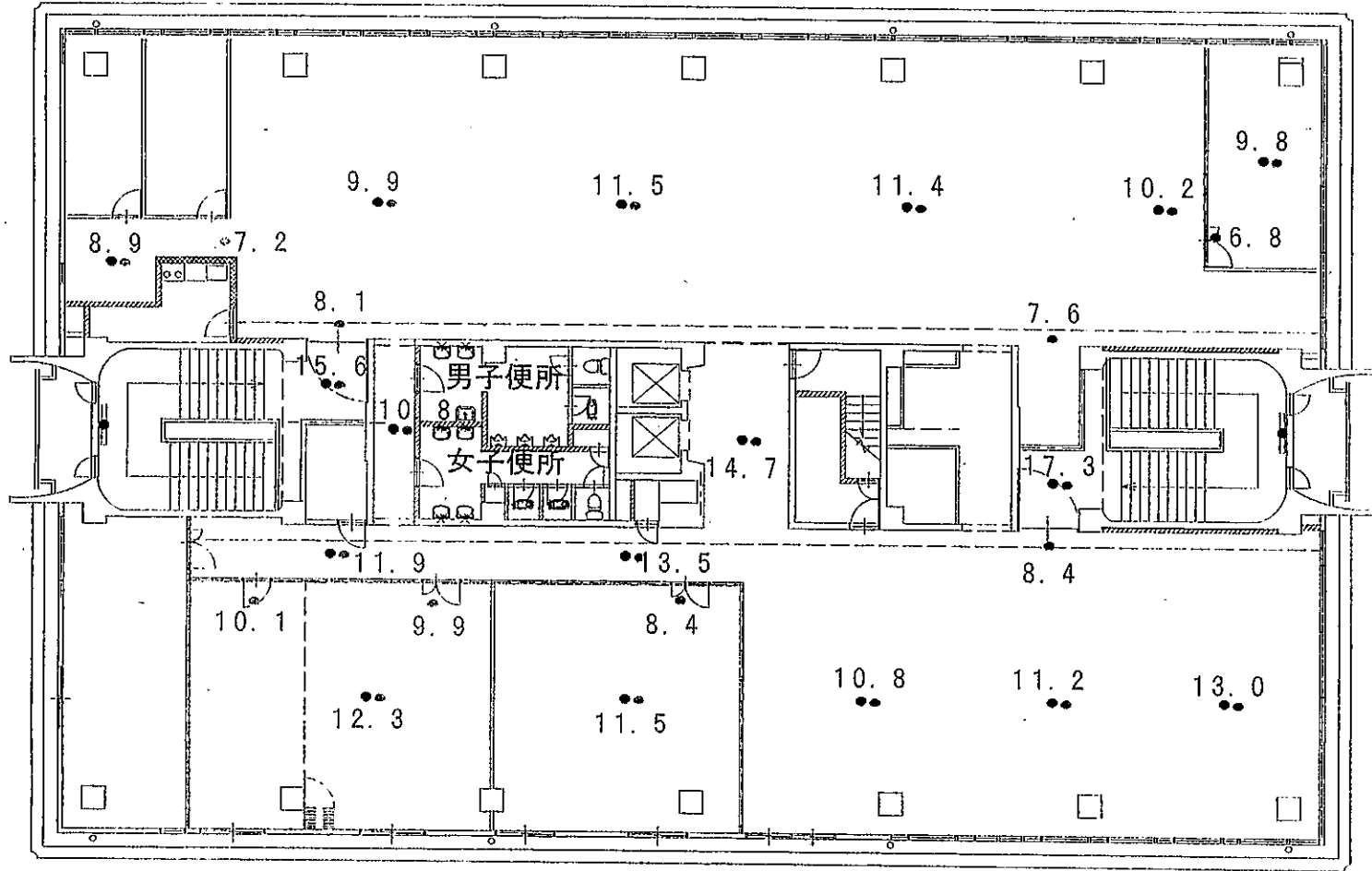
# 3階



# 4階



# 5階





完了検査申請書  
(第一面)



工事を完了しましたので、建築基準法第7条の2第1項（これらの規定を同法第87条の2又は第88条第1項若しくは第2項において準用する場合を含む）の規定により、検査を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

なお、申請に当たっては、株式会社日本確認検査センターの確認検査業務約款を遵守します。また確認検査業務手数料規程によることを承諾します。

指定確認検査機関

㈱日本確認検査センター

代表取締役 磯野 幸夫 様

26.11.25  
平成 年 月 日

申請者氏名 大東市長 東坂浩



第四面に記載の事項は、事実と相違ありません。

工事監理者氏名 株式会社建綜研

[検査を申請する建築物等]

- 建築物                       建築設備（昇降機）                       建築設備（昇降機以外）  
 工作物（昇降機）                       工作物（法第88条第1項）                       工作物（法第88条第2項）

*手数料欄	*手数料 ㈱日本確認検査センター確認検査業務手数料規程参照 (手数料請求先等)			
*受付欄	*検査の特例欄	*検査欄	*決裁欄	*検査済証欄
平成 年 月 日				平成 年 月 日
第NK14-1014号				第NK 号
係員印				係員印

(注意)

- ① 「検査を申請する建築物等」の欄は、当該するチェックボックスに「✓」マークを入れて下さい。
- ② 数字は算用数字を用いて下さい。
- ③ \*印のある欄は記入しないで下さい。

建築主、設置者又は築造主等の概要

【1. 建築主設置者又は築造主】

- 【イ. 氏名のフリガナ】ダイウシチョウ ヒガシカウイ  
【ロ. 氏名】大東市長 東坂浩一  
【ハ. 郵便番号】574-8555  
【ニ. 住所】大阪府大東市谷川 1-1-1  
【ホ. 電話番号】072-872-2181

【2. 代理人】

- 【イ. 資格】 (1級) 建築士 (大臣) 登録第 [ ] 号  
【ロ. 氏名】 [ ]  
【ハ. 建築士事務所名】 (1級) 建築士事務所 (大阪府) 知事登録 (チ) 第8143号  
株式会社建綜研  
【ニ. 郵便番号】531-0076  
【ホ. 所在地】大阪市北区大淀中 1-8-5  
【ヘ. 電話番号】06-6454-1630

【3. 設計者】

(代表となる設計者)

- 【イ. 資格】 (1級) 建築士 (大臣) 登録第 [ ] 号  
【ロ. 氏名】 [ ]  
【ハ. 建築士事務所名】 (1級) 建築士事務所 (大阪府) 知事登録 (チ) 第8143号  
株式会社建綜研  
【ニ. 郵便番号】531-0076  
【ホ. 所在地】大阪市北区大淀中1-8-5  
【ヘ. 電話番号】06-6454-1630  
【ト. 作成した設計図書】意匠図、設備図

(その他の設計者)

- 【イ. 資格】 (1級) 建築士 (大臣) 登録第 [ ] 号  
【ロ. 氏名】 [ ]  
【ハ. 建築士事務所名】 (1級) 建築士事務所 (兵庫県) 知事登録第01A00117号  
田口一級建築士事務所  
【ニ. 郵便番号】655-0896  
【ホ. 所在地】神戸市垂水区中道4-1-15  
【ヘ. 電話番号】078-755-2081  
【ト. 作成した設計図書】構造図、構造計算書  
【イ. 資格】 [ ] 級) 建築士 (大臣) 登録第 [ ] 号  
【ロ. 氏名】 [ ]  
【ハ. 建築士事務所名】 (1級) 建築士事務所 (大阪府) 知事登録 (チ) 第8143号  
株式会社建綜研  
【ニ. 郵便番号】531-0076  
【ホ. 所在地】大阪市北区大淀中1-8-5  
【ヘ. 電話番号】06-6454-1630  
【ト. 作成した設計図書】設備図の法適合確認

- 【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
【ロ. 氏名】  
【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号  
【ニ. 郵便番号]  
【ホ. 所在地]

【ハ.電話番号】

【ト.作成した設計図書】

---

【4. 工事監理者】

(代表となる工事監理者)

【イ.資格】 (1級) 建築士 (大臣) 登録第 [REDACTED] 号

【ロ.氏名】 [REDACTED]

【ハ.建築士事務所名】 (1級) 建築士事務所 (大阪府) 知事登録 (チ) 第8143号  
株式会社建綜研

【ニ.郵便番号】 531-0076

【ホ.所在地】 大阪市北区大淀中1-8-5

【ヘ.電話番号】 06-6454-1630

【ト.工事と照合した設計図書】 全て

(その他の工事監理者)

【イ.資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号

【ロ.氏名】

【ハ.建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ニ.郵便番号】

【ホ.所在地】

【ヘ.電話番号】

【ト.工事と照合した設計図書】

【イ.資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号

【ロ.氏名】

【ハ.建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ニ.郵便番号】

【ホ.所在地】

【ヘ.電話番号】

【ト.工事と照合した設計図書】

【イ.資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号

【ロ.氏名】

【ハ.建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ニ.郵便番号】

【ホ.所在地】

【ヘ.電話番号】

【ト.工事と照合した設計図書】

---

【5. 建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者】

(代表となる建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者)

【イ.氏名】

【ロ.勤務先】

【ハ.郵便番号】

【ニ.所在地】

【ホ.電話番号】

【ヘ.登録番号】

【ト.意見を聴いた設計図書】

(その他の建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者)

【イ. 氏名】

【ロ. 勤務先】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

【ヘ. 登録番号】

【ト. 意見を聴いた設計図書】

【イ. 氏名】

【ロ. 勤務先】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

【ヘ. 登録番号】

【ト. 意見を聴いた設計図書】

【イ. 氏名】

【ロ. 勤務先】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

【ヘ. 登録番号】

【ト. 意見を聴いた設計図書】

---

【6. 工事施工者】

【イ. 氏名】 富田泰富

【ロ. 営業所名】 建設業の許可大阪府知事(特-23)第3059号

富田建設株式会社

【ハ. 郵便番号】 574-0042

【ニ. 所在地】 大東市大野 1-4-4

【ホ. 電話番号】 072-872-1349

---

【7. 備考】 (建築物の名称又は工事名、フリガナ)

シンカイトン2カイトイユウカイツツウチホコウジ

市民会館2階大集会室増築他工事

---

申請する工事の概要

【1. 建築場所、設置場所又は築造場所】

【イ. 地名地番】大東市曙町 400-1

【ロ. 住居表示】大東市曙町 4-6

【2. 工事種別】

【イ. 建築基準法施行令第10条各号に掲げる建築物の区分】 第 号

【ロ. 工事種別】 新築 増築 改築 移転

大規模の修繕 大規模の模様替 建築設備の設置

【ハ. 建築基準法第68条の20第2項の検査の特例に係る認証番号】

【3. 確認済証番号】 第NK14-0486号 第NK14-1014号

【4. 確認済証交付年月日】 平成26年7月24日 平成26年11月25日

【5. 確認済証交付者】株式会社日本確認検査センター

【6. 工事着手年月日】 平成26年7月25日

【7. 工事完了年月日】 平成26年11月28日

【8. 検査対象床面積】 566.246㎡

【9. 検査経過】 (第 1 回) (第 2 回)

【イ. 特定工程】 (基礎の配筋工事) (2階の床版の取付け工事)

【ロ. 中間検査合格証交付者】 (株)日本確認検査センター (株)日本確認検査センター

【ハ. 中間検査合格証番号】 (NK14-0486) (NK14-0486)

【ニ. 交付年月日】 (平成26年9月4日) (平成26年9月22日)

【10. 確認以降の軽微な変更の概要】

【イ. 変更された設計図書の種類】

【ロ. 変更の概要】

【11. 備考】

## (第四面)

## 工事監理の状況


	確認を行った部位、材料の種類等	照合内容	照合を行った設計図書	設計図書の内容について設計者に確認した事項	照合方法	照合結果 (不適の場合には 建築主に対して行 った報告の内容)
敷地の形状、高さ、衛生及び安全	敷地・建物	・高さ・形状 寸法	配置図	無し	・現場確認	適
	建物	・配置の状況	配置図	〃	・現場確認	適
主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料(接合材料を含む)の種類、品質、形状及び寸法	鉄骨	・材料・種類・寸法	構造図 平面図	〃	・規格証明書の照合	適
	コンクリート	・材料・種類・規格・品質 ・形状 ・圧縮強度	構造図	〃	・報告確認 ・現場試験報告書にて書類確認 ・配合報告書にて書類確認	適 適 適
	鉄筋	・材料・種類・規格 ・品質・形状・寸法 ・品質・形状・寸法	〃 〃 構造図	〃 〃 〃	・ミルシートにて書類・現場報告確認	適
	ベースパック	・品質・形状・寸法	〃	〃	・現場報告確認	適
	接合金物	〃	〃	〃	・現場報告確認	適
主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料の接合状況、接合部分の形状等	柱・梁の接合	・接合状況 ・超音波探傷試験	〃	〃	・報告確認 ・鉄工所社内検査 第三者機関の報告書及び鉄工所内検査にて確認	適 適
	ベースパックと柱の接合	・接合状況	〃	〃	・現場報告確認	適
	ボルト	・ボルト強度	〃	〃	・現場報告確認	適
	基礎鉄筋の接合部分	・継手の状況	〃	〃	・試験報告書にて照合 ・施工後現場確認 ・鉄筋強度試験報告書にて確認	適 適
建築物の各部分の位置、形状及び大きさ	基礎	・位置・形状・寸法 ・配筋の本数・位置	〃 〃	〃 〃	・施工後報告確認 ・施工後報告確認 ・配合報告書にて確認	適 適 適
	鉄骨柱	・位置・形状・寸法 ・位置・形状・寸法 ・材料・寸法	〃	〃	・現場報告確認	適
	鉄骨梁	〃	〃	〃	・現場報告確認	適
	屋根	〃	〃	〃	・現場報告確認	適
	敷地・建物	・高さ・形状 寸法	配置図	無し	・現場確認	適
構造耐力上主要な部分の防錆、防蝕及び防蟻措置及び状況	建物	・配置の状況	配置図	〃	・現場確認	適
	天井	・仕上材の種類 ・仕上の状況	断面図 平面図 仕上表	無し 〃	・現場にて確認	適
特定天井に用いる材料の種類並びに当該特定天井の構造及び施工状況	壁	・仕上材の種類 ・仕上の状況	断面図 平面図 仕上表	無し 〃	・現場にて確認	適

居室の内装の仕上げに用いる建築材料の種類及び当該建築材料を用いる部分の面積	天井	・仕上材の種類 ・仕上の状況	断面図 平面図 仕上表	無し ＃	・現場にて確認	適
	壁	・仕上材の種類 ・仕上の状況	断面図 平面図 仕上表	無し ＃	・現場にて確認	適
天井及び壁の室内に面する部分に係る仕上げの材料の種類及び厚さ	建物内部の開口部	・形状・寸法	断面図 平面図 立面図	無し	・施工後現場確認	適
	建物外部の開口部	・形状・寸法 ・開口部間の距離	断面図 平面図 立面図	無し ＃	・施工後現場確認	適
開口部に設ける建具の種類及び大きさ	配管・配線	・種類・形状・寸法 ・設置状況	平面図	無し	・施工後現場確認	適
	給水設備	・種類・形状・寸法 ・設置状況	平面図	＃	・施工後現場確認	適
	排水設備	・種類・形状・寸法 ・設置状況	平面図	＃	・施工後現場確認	適
	ガス設備	・種類・形状・寸法 ・設置状況	平面図	＃	・施工後現場確認	適
	換気設備	・種類・形状・寸法 ・設置状況	平面図	＃	・施工後現場確認	適
建築設備に用いる材料の種類及びその照合した内容並びに当該建築材料の構造及び施工状況（区画貫通部の処理状況を含む。）						
備考	敷地・建物	・高さ・形状 寸法	配置図	無し	・現場確認	適
	建物	・配置の状況	配置図	＃	・現場確認	適

# 委任状

【代理人】

大阪市北区大淀中 1-8-5

【氏名】 株式会社建線研 

上記の者を代理人と定め、下記に関する権限を委任します。

【地名地番】大東市曙町 400-1

【委任事項】

- 確認申請手続き並びにその訂正、確認済証の受領
- 中間検査申請手続き並びにその訂正、中間検査合格証の受領
- 完了検査申請手続き並びにその訂正、完了検査済証の受領
- 住宅金融支援機構設計検査申請手続き並びにその訂正、設計検査通知書の受領
- 住宅金融支援機構現場検査申請手続き並びにその訂正、現場検査通知書の受領
- 計画変更申請手続き並びにその訂正、計画変更確認済証の受領
- 各種変更届(軽微な変更含む)の提出並びにその訂正、受領
- 取止め・取下げ届の提出並びにその訂正、受領
- その他( )

平成 26 年 月 日

【委任者】

【氏名のフリガナ】ダイウシチョウ ヒカシヤカゴウイテ

【氏名】 大東市長 東坂浩一

印



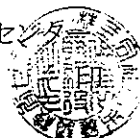
建築基準法第7条の4第3項の規定による  
中間検査合格証

大東市長 東坂 浩一 様

第 NK14-0486 号  
平成 26 年 9 月 22 日

指定確認検査機関

株式会社日本確認検査センター  
代表取締役 磯野 幸夫



下記による特定工程に係る工事は、建築基準法第7条の4第1項の規定による検査の結果、建築基準法第6条第1項（建築基準法第6条の3第1項の規定により、読み替えて適用される同法第6条第1項）の建築基準関係規定に適合していることを証明する。

記

1. 確認済証番号 第 NK14-0486 号
2. 確認済証交付年月日 平成26年7月24日
3. 確認済証交付者  
株式会社日本確認検査センター 代表取締役 磯野 幸夫
4. 建築場所  
大阪府大東市曙町400-1
5. 検査を行った建築物又はその部分の概要  
建築物の用途 : 集会場 (市民会館)  
工事種別 : 増築  
構造種別 : SRC造 一部 S造  
  
建築物の階数 : 地上階数 5 階 地下階数 0 階  
申請棟数 : 3 棟
6. 特定工程 2階の床版の取付け工事
7. 検査年月日 平成26年9月22日
8. 検査を行った確認検査員氏名 XXXXXXXXXX
9. 検査対象に関する特記事項

(注意) この証は、大切に保存しておいてください。

建築基準法第7条の4第2項の規定による  
中間検査引受証

大東市長 東坂 浩一 様

第 NK14-0486 号  
平成 26 年 9 月 12 日

指定確認検査機関

大阪府中央区北浜3丁目1-21

株式会社日本確認検査センター  
本社

下記による特定工程に係る工事について、建築基準法第7条の4第1項の規定による検査を引受けたことを証明します。

記

1. 確認済証番号

第 NK14-0486 号

2. 確認済証交付年月日

平成26年7月24日

3. 確認済証交付者

株式会社日本確認検査センター 代表取締役 磯野 幸夫

4. 特定工程

2階の床版の取付け工事

5. 特定工程工事終了(予定)年月日

平成26年9月8日

6. 検査引受年月日

平成26年9月12日

7. 建築場所、設置場所又は築造場所

大阪府大東市曙町400-1

# 工事監理報告書

平成 26 年 9 月 22 日

(株)日本確認検査センター 様

建築基準法及び関係法令に適合するように施工されたことを確認しましたので報告します。  
この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

工事監理者 住所 大阪市北区大淀中1-8-5

氏名 株式会社 建綜研

工事施工者 住所 大東市大野1-4-4

氏名 富田建設株式会社 富田泰富

(社印または現場代理人の印)

確認	平成26年 7月 24日 第 NK14-0486号			
建築主 ( 築 造 主 )	大東市長 東坂浩一			
工事名称	市民会館2階大集会室増築他工事			
敷地の地名地番	大東市曙町400-1			
設計者資格 住所氏名	(1)級建築士(大臣)登録第 [ ] 号 [ ] 大阪市北区大淀中1-8-5 株式会社 建綜研 電話 06-6454-1630			
工事監理者 住所氏名	(1)級建築士(大臣)登録第 [ ] 号 [ ] 大阪市北区大淀中1-8-5 株式会社 建綜研 電話 06-6454-1630			
工事施工者 住所氏名	建設業の許可 大阪府知事(特-23)第 3059 号 大東市大野1-4-4 富田建設株式会社 富田泰富 電話 072-872-1349			
工事期間	平成 26年 7月 25日 ~ 平成 26年 11月 30日			
建築物  (工作物)  概要	工事種別	増築	用途 (工作物の種類)	集会場(市民会館)
	構造	SRC一部S	延べ面積	5642.923㎡
	階数	地上 地下 5階・0階	軒高 (工作物の高さ)	26.130m
報告様式  (該当するものを○で囲む)	① 共通	7	シックハウス内装関係	
	② 基礎配筋	8	防火区画等関係	
	3 木造・軸組工法	9	バリアフリー関係	
	4 木造・枠組壁工法	10	詳細報告	
	5 鉄筋コンクリート造	⑪	各種資料チェックリスト	
	⑥ 鉄骨造			

工事監理報告書(共通)

項目	月日	確認方法	結果	不具合箇所の処理状況	備考
確認の表示					
敷地の形状等	敷地境界等	7/10	B	適	
	すみ切り				
	擁壁設置の 許認可の有無				
	道路との接続	7/10	A	適	
	道路境界線等	7/10	A	適	
配置等	敷地境界線と 外壁の距離	7/10	B	適	
		7/10	B	適	
建物の高さ	設計GL及び 現地設計GL	7/15	B	適	
		7/15	B	適	
	建物の高さ (斜線制限)	9/16	B	適	2階SL、軒天
造主 部要 等構	耐火、防火性能 その他				
内装	仕上材の種類 仕上げの状況				
開口部	寸法、形状 建具の種類				
建築設備	自然換気設備				
	給排水設備				
	電気設備				
備考	1 月日欄には、項目の確認を実施した月日を記入する。 2 確認方法欄には、「立会目視」(A)、「立会採寸」(B)、「施工報告」(C)、「写真」(D)、「その他」(E)のいずれかの方法を記入する。 3 結果欄には、「適」、「不適」を記入する。				

【各種材料試験及び検査結果一覧】

材料	試験項目	部位	サンプル数	試験又は検査実施者	結果	備考
コンクリート	骨材試験	基礎		稲田巳建材	適	水分、粘土塊量、洗い 7%カリウム灰分
	コンクリートの配合	基礎		稲田巳建材	適	配合報告書
	コンクリートの圧縮強度(1週)					
	コンクリートの圧縮強度(4週)					現場水中養生
	コンクリートの施工	基礎		富田建設	適	施工報告書
鉄筋	強度試験	基礎		岸和田製鋼・中山鋼業	適	ミルシート等
	施工	基礎		富田建設	適	
	圧接部強度試験					
	溶接又は圧接部の 内部欠陥検査	基礎・梁	3	日本建築総合センター	適	

※部位(各工程)ごとに作成すること。ただし、記入できない場合は別途作成してください。

## 工事監理報告書(基礎配筋)

項目	確認事項	月日	確認方法	結果	不具合部分の処理方法	備考
地盤	地盤状況(地盤調査の要否)					
直接基礎	形状及び寸法					
	根入深さ					
	支持地盤の状態(乱されていないこと)					
	支持地盤の確認(地盤調査との照合)					
杭基礎 (杭頭処理)	形状及び寸法	8/25	B	適		
	杭鉄筋の種別、径、本数、間隔					
	杭芯ずれの有無	8/25	B	適		
	杭鉄筋の定着	8/25	B	適		
	杭頭破壊、損傷の有無	8/25	A	適		
	杭頭レベル	8/25	B	適		
ベース配筋	鉄筋の径、間隔	8/25	B	適		
	鉄筋の定着	8/25	B	適		
	鉄筋のかぶり厚さ	8/25	B	適		
	杭基礎のフーチング立ち上がり筋	8/25	B	適		
基礎梁 配筋等	形状及び寸法	8/25	B	適		
	・スラブ厚さ	8/25	B	適		
	・基礎梁の幅、せい	8/25	B	適		
	主筋の種別、径、本数、間隔	8/25	B	適		
	主筋の定着	8/25	B	適		
	スリーブ、ハンチ、増し打ちの補強					
	あばら筋の径、本数、間隔	8/25	B	適		
	あばら筋の加工	8/25	B	適		
	幅止め筋、腹筋の本数、位置	8/25	B	適		
	鉄筋のかぶり厚さ	8/25	B	適		
	柱主筋及び帯筋の種別、径、本数、間隔	8/25	B	適		
	結束筋の状況	8/25	B	適		
	地下壁					
その他	ガス圧接技量資格者の確認	8/25	B	適		
	ガス圧接継手位置、形状の確認	8/25	B	適		
	ガス圧接継手の強度確認	8/25	B	適		
	型枠、せき板、支保工、金物等の確認	8/25	B	適		
	型枠、支柱及び金物の締め付け、	8/25	B	適		
	清掃の確認	8/25	B	適		
備考	1. 月日欄には、項目の確認を実施した月日を記入する。 2. 確認方法欄には、「立会目視」(A)、「立会採寸」(B)、「施工報告」(C)、「写真」(D)、「その他」(E)のいずれかの方法を記入する。 3. 結果欄には、「適」、「不適」を記入する。					

工事監理報告書(鉄骨造)

項目	確認事項	月日	確認方法	結果	不具合部分の処理方法	備考
柱脚部	(1) アンカーボルトの径、本数、位置 歪み、ナット締め付け	9/12	B	適		
		9/12	A	適		
	(2) ベースプレートの据え付け	9/12	A	適		
	(3) 根巻鉄筋					
	(4) コンクリート投入孔					
	(5) 認定柱脚	9/12	A	適		
接合部	(1) 継手部の状況 ・ボルトの径、本数、余長 ・継手の位置、形状 ・密着状態	9/16	B	適		
	(2) パネルゾーンの状態	9/16	A	適		
	(3) 小梁、片持梁、階段部等	9/16	B	適		
鉄骨	(1) 各部材の形状、寸法	9/5	B	適		
	"    配置	9/5	A	適		
	"    材質	9/5	A	適		
	(2) 溶接欠陥の有無	9/5	A	適		
	(3) カバープレート、ブレース等の取付け スカラップの有無	9/5	A	適		
		9/5	A	適		
	(4) スリーブの位置 "    大きさ "    補強					
床版	(1) 床の仕様	9/18	A	適		
	(2) 床ブレース:材質、寸法等の確認					
	(3) デッキプレート床方向 焼き抜きせん溶接の状態 配筋状況、方向確認	9/18	B	適		
	(4) 大巨認定床					
	(5) スタッドボルト:寸法、ピッチの確認					
備考	1. 月日欄には、項目の確認を実施した月日を記入する。 2. 確認方法欄には、「立会目視」(A)、「立会採寸」(B)、「施工報告」(C)、「写真」(D)、「その他」(E)のいずれかの方法を記入する。 3. 結果欄には、「適」、「不適」を記入する。					

試験・検査項目	部位	サンプル数	試験又は検査実施者	結果	備考
鋼材強度試験	梁	別紙	JFE(株)	合格	
ボルト類等強度試験	梁	別紙	日本ボルト(株)	合格	
溶接部強度試験					
溶接部非破壊検査	柱梁	74	小瀬検査(株)	合格	

## 各種資料チェックリスト

項 目	有	無	備 考
地盤調査報告書	○		
地盤改良施工報告書及び地盤改良品質検査結果報告書			
杭耐力試験報告書及び杭施工報告書	○		
骨材試験報告書	○		
コンクリート配合報告書	○		
フレッシュコンクリートのスランプ、空気量、単位容積質量、温度及び塩化物量試験報告書			
コンクリート圧縮強度試験報告書	○		
コンクリートコア圧縮強度試験報告書			
硬化したコンクリート塩化物量試験報告書			
コンクリート工事施工結果報告書	○		
コンクリート打込結果表			
鉄筋強度試験報告書	○		
PC鋼棒、PC鋼線及びPC鋼より線強度試験報告書			
鋼材強度試験報告書	○		
ボルト類強度試験報告書	○		
高力ボルト締め付け検査報告書			
溶接部非破壊試験報告書	○		
溶接部強度試験報告書			
圧接部強度試験報告書	○		
鉄骨工事施工状況報告書	○		
使用金物一覧表			
鋼材の品質証明書の写し	○		
鋼材の流通経路を示す書類	○		
工事写真	○		

コンクリート工事施工(計画・結果)報告書



平成 26 年 9 月 22 日

(株)日本確認検査センター 様

報告者	工事監理者	住所 大阪市北区大淀中 1-8-5		氏名	[Redacted]	
		会社名 株式会社建綜研		電話	06-6454-1630	
		(1) 級建築士 (大臣) 登録 第 [Redacted] 号				
報告者	工事施工者	住所 大阪府大東市大野 1-4-4		代表者 富田泰富	[Redacted]	
		会社名 富田建設株式会社		電話	072-872-1348	
		建設業の許可 (大阪府知事(特-23)) 第 3059 号				
確認	確認年月日	平成 26 年 7 月 24 日		確認番号	NK14-0486 号	
計画変更確認	確認年月日	平成 年 月 日		確認番号	号	
建築工事名称	市民会館二階ホール増築他建築 工事					
建築場所	大東市曙町 400-1					
建築主	大東市長 東坂浩一		住所	大東市谷川 1-1-1		
設計者	会社名	株式会社建綜研		住所	大阪市北区大淀中 1-8-5	
	氏名	[Redacted]		電話	06-6454-1630	
		(1) 級建築士 (大臣) 登録 第 [Redacted] 号		資格		
建築物の概要	敷地面積	5228.27 m <sup>2</sup>		建築面積	599.026 m <sup>2</sup>	延べ面積 560.246 m <sup>2</sup>
	階数	地上 2 階 地下 階		主要用途	集会場 (市民会館)	構造 S 造
工事監理実務者	研修登録番号 ( )		会社名	電話		
工事施工管理実務者	研修登録番号 ( )		会社名	電話		
下請会社	下請工事施工者			会社名	電話	
	下請工事施工実務者	研修登録番号 ( )		会社名	電話	
圧送従事者	研修・検定機関 ( )		会社名及び住所	電話		
	研修登録番号 ( )					

※添付資料: ア.コンクリート打込(計画・結果)表  
イ.コンクリート配合報告書  
ウ.骨材試験報告書



コンクリート打込 (計画・結果) 表

上段(計画)	計画割合 番号	打込箇所 (部位別)	打込 時期	コンクリート の種類	セメントの 種類(記号)	設計基準 強度(N/mm <sup>2</sup> )	呼び強度	混和材料 (商品名)	スラブ (cm)	単位水量 (kg/m <sup>3</sup> )	打込容積 (m <sup>3</sup> )	試験 回数(回)	空気量 (%)	温度 (℃)	<sup>14</sup> C化合物測定 結果(kg/m <sup>3</sup> )	使用塩化物量 測定器	<sup>10</sup> 圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )			養生方法 (A・B・D)		
																	7日	28日				
計画	NO. 5	基礎	H26.9.5	普通	IV	24	30	マスター・ポリヒド	15	184	120	1										
結果	NO. 5		"	"	"	"	"	"	"	"	117	1	4.0	25	0.09	カンタグ	33.3				(A・B・D)	
計画	NO. 1	デッキスラブ	H26.9.4	"	"	18	21	"	15	184	54	1										
結果	NO.		"	"	"	"	"	"	"	"												(A・B・D)
計画	NO.																					
結果	NO.																					(A・B・D)
計画	NO.																					
結果	NO.																					(A・B・D)
計画	NO.																					
結果	NO.																					(A・B・D)
計画	NO.																					
結果	NO.																					(A・B・D)
計画	NO.																					
結果	NO.																					(A・B・D)
計画	NO.																					
結果	NO.																					(A・B・D)
計画	NO.																					
結果	NO.																					(A・B・D)
計画	NO.																					
結果	NO.																					(A・B・D)
コンクリート容積計				普通 ( m <sup>3</sup> )	軽量 ( m <sup>3</sup> )						合計 ( m <sup>3</sup> )											

【コンクリート製造会社・工場名】

【コンクリートの劣化対策】

【考察】

計画割合 NO.	<input type="checkbox"/> 塩化物量の予測 ( ) 0.30kg/m <sup>3</sup> 以下、( ) 0.30kg/m <sup>3</sup> を超え0.60kg/m <sup>3</sup> 以下、( ) 0.60kg/m <sup>3</sup> を超える	<input type="checkbox"/> 圧縮強度試験結果について	<input type="checkbox"/> 塩化物量測定結果について
計画割合 NO.	<input type="checkbox"/> 塩害の要因(有・無) ( ) 掃砂、( ) 蒸気剤、( ) 練り混ぜ水、( ) その他( )	<input type="checkbox"/> アルカリ骨材反応対策について	<input type="checkbox"/> その他(骨材の品質、不具合の処置等)
計画割合 NO.	<input type="checkbox"/> 塩害対策(有・無) ( ) 割合(w/c %、スラブ cm)、( ) 防せい剤( ) ( ) 床下地の鉄筋かぶり厚さ ( cm)、( ) その他( )		
計画割合 NO.	<input type="checkbox"/> アルカリ骨材反応対策(有・無) ( ) 無害骨材の使用、( ) 低アルカリ形セメントの使用( ) ( ) アルカリ総量( kg/m <sup>3</sup> 以下)、( ) 混合セメントの使用		

- 1) コンクリート工事施工計画報告書はコンクリート工事着手前までに、コンクリート工事施工結果報告書は中間検査申請時又は、完了検査申請時に必ず提出すること。
- 2) 記載内容に変更が生じた場合は、コンクリート工事施工結果報告書により報告すること。
- 3) コンクリート工事施工計画報告書の提出時に、計画割合番号を明記したコンクリート配合報告書を添付すること。
- 4) 工事開始前並びに工事期間中(1回/月)、「建築試験所」で行った骨材試験報告書(総乾密度及び吸水率の測定、粒度の測定)を各提出時に添付すること。
- 5) 工事期間中に行った塩化物量測定は、(財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けた塩化物測定器具により測定し、この欄には最大値を記入すること。
- 6) 工事期間中に「建築試験所」で行った圧縮強度試験(S56 建告第1102号)の試験報告書の原本を各検査申請時に添付し、この欄には最小値を記入すること。

- 7) 各種試験は「建築試験所」で実施すること。
- 8) コンクリート工事施工計画報告時は計画割合(上段)に、コンクリート工事施工結果報告時は結果割合(下段)に記入すること。
- 9) コンクリートの劣化対策はコンクリート工事施工計画報告時に、考察はコンクリート工事施工結果報告時にそれぞれ記入すること。
- 10) 計画割合、結果割合内は、未記入とする。

# 鉄骨工事施工状況報告書

控

(一面)

平成26年9月22日

株式会社 近畿確認検査センター  
代表取締役 磯野 幸夫 様

建築基準法及び関係法令に適合するように施工されたことを確認しましたので下記のとおり報告します。  
この鉄骨工事施工状況報告書及び添付図書に記載の事項は事実と相違ありません。

建築主 住所 大東市谷川一丁目1番1号 氏名 東坂浩一

工事監理者 事務所名 株式会社 建研研 (1)級建築士事務所 (大阪府知事)登録第 8143号  
住所 大阪市北区大淀中1-8-5 TEL 06-6454-1630  
資格 (1)級建築士(大阪)知事登録第 [ ]号 氏名 [ ]

工事施工者 住所 大阪府大東市大野1-4-4 TEL 072-872-1348  
施工者名 富田建設株式会社

建築物・鉄骨工事概要	工事名称	市民会館2階ホール増築他建築工事		建築確認	平成26年7月24日 № [ ]			
	建築場所	大阪府大東市曙400-1						
	主要用途	集会場(市民会館)	建築面積	2194.933 m <sup>2</sup>	延べ床面積	5609.323 m <sup>2</sup>		
	階数	地上5 地下	軒の高さ	26.13 m	最大スパン	11.5 m		
	構造種別	SRC造 ( )			架構形式	ラーメン フレス ( )		
	建築確認通知書と設計図書の照合	訂正箇所 (有・無)			設計図書の訂正 (確認済・未確認)			
	建築確認後の変更事項	変更 (有・無) 変更内容 排煙窓の位置変更、屋外鉄骨階段の変更、廊下屋根へのメンテナンス道						
	主要部材の使用部位及び鋼種	部位	鋼材種別	重量	高力ボルトの種別	JIS型	(F T, ) 径(M )	
		柱	BCR 295	25.76t		トルシア型	(S 10T, ) 径(M16.20.22)	
		梁	SS 400	87.07t	高力ボルトの接合	接合方法	摩擦面の処理方法	
溶接継目の部位、鋼材の種類及び品質条件	使用部材	鋼種	溶接棒	作業場所	姿勢	検査方法	特記事項	
	突合せ	柱+ダイアフラム	BCR295+SN490C	YGW11	(工場・現場)	下向	超音波探傷検査	
		ダイアフラム+梁フランジ	SN490C+SS400	YGW11	(工場・現場)	下向	超音波探傷検査	
	すみ肉	柱+柱			(工場・現場)			
		柱+梁ウェブ	BCR295+SS400	YGW11	(工場・現場)	下向・横向	目視・溶接ゲージ	
					(工場・現場)			
					(工場・現場)			
				(工場・現場)				
工事関係者住所・氏名	設計者	事務所名 株式会社 建研研 (1)級建築士事務所(大阪府知事)登録第 8143号 TEL 06-6454-1630 住所 大阪市北区大淀中1-8-5 資格・氏名 (1)級建築士(大阪)知事登録第 [ ]号						
	構造担当者	事務所名 田口 (1)級建築士事務所(兵庫県知事)登録第 1A00117号 TEL 078-755-2081 住所 神戸市東灘区中道4-1-15 資格・氏名 (1)級建築士(大阪)知事登録第 [ ]号						
	検査機関(検査員)	機関名	小濱検査株式会社		代表者氏名	小濱 啓介 TEL 06-6791-9407		
		住所	大阪市生野区巽南4丁目9-41		検査員氏名	[ ] 資格 超音波探傷試験レベル2		
	鉄骨加工工場	工場名	株式会社フジテツ		代表者氏名	下田 博		
		住所	奈良市山町645番地		TEL	0742-61-[ ]		
溶接管理責任者	所属	(株)フジテツ (鉄工部)		氏名	[ ] 資格 WES-8103 2級			
溶接検査責任者	所属	(株)フジテツ		氏名	[ ] 資格 NDI-UT-2種			
添付書類	① 鋼材強度試験報告書 ② ボルト類強度試験報告書 ③ 溶接部の非破壊検査報告書 エ. 溶接部の強度試験報告書 オ. 高力ボルト締め付け検査報告書 ④ 鋼材の流通経路を示す書類 ⑤ 写真(開先形状、建て方、溶接部の外観及び非破壊検査、柱・梁・筋かい・柱脚の寸法及び形状) ク. ( ) ケ. ( ) コ. ( )							

鉄骨加工工場及び工事現場における試験・検査等の結果

工場製作における検査等の実施状況	検査等の項目	実施した試験・検査等の方法 (実施した項目の記号に○印)	検査等の実施状況の可否を記入		
			工事施工者	工事監理者	検査機関
工場製作における検査等の実施状況	鉄骨加工工場の決定	(a) 書類審査    b 工場実地調査	(可) 不可	(可) 不可	—
	要領書、工作図の審査	(a) 設計図書との照合    b 図書審査承認	(可) 不可	(可) 不可	—
	溶接方法の承認	(a) 要領書審査    b 承認試験	(可) 不可	(可) 不可	—
	溶接工の承認	(a) 資格証の確認    b 技量確認試験	(可) 不可	(可) 不可	—
	使用鋼材等の品質確認	(a) ミルシートの承認    b 立ち会い検査	(可) 不可	(可) 不可	—
	使用材料、製品の検査 (HTB・スタットボルト等)	(a) ミルシートの承認    b 材料試験 c 立ち会い検査    d ( )	(可) 不可	(可) 不可	—
	原寸検査等	a 立ち会い検査	(可) 不可	(可) 不可	—
	切断後の鋼材材質確認	a 立ち会い検査    b 確認試験	(可) 不可	(可) 不可	—
	組立検査	a 開先形状    b ルート間隔    c 目違い d 裏当て、エンドタブ    e 仮付け溶接	(可) 不可	(可) 不可	—
	製品の社内検査実施状況の確認	a 製品の社内検査報告書確認 b ( )    c ( )	(可) 不可	(可) 不可	—
鉄骨製品の受入検査	a 溶接部外観検査(溶接部の精度、表面欠陥) (b) 非破壊検査(超音波探傷試験、浸透検査探傷試験) その他( ) c 補正措置    d 部材表面検査    e 寸法検査 f 取合部検査    g ( )    h ( )	(可) 不可	(可) 不可	可 不可 bの初回検査率 ( %)	
現場製作における検査等の実施状況	RC部との接合(柱脚等)	(a) 設計図書との照合	可 不可	可 不可	—
	アンカーボルトの埋込等	(a) 設計図書との照合	(可) 不可	(可) 不可	—
	建て方、建て方精度	(a) 建て方精度    b 建て入れ直し c 倒壊防止措置    d 仮締めボルト	(可) 不可	(可) 不可	—
	トルシア型HTB受入検査	(a) 現場軸力導入確認試験	(可) 不可	(可) 不可	—
	摩擦接合面の確認	(a) 目視    b ( )	(可) 不可	(可) 不可	—
	食い違い、肌すき検査	(a) 目視    b ( )	(可) 不可	(可) 不可	—
	高力ボルト本締め検査	(a) 目視    b ( )	(可) 不可	(可) 不可	—
	共廻り、締め忘れ検査	(a) 目視    b ( )	(可) 不可	(可) 不可	—
	要領書、工作図の承認	(a) 設計図書との照合	(可) 不可	(可) 不可	—
	溶接方法の承認	a 要領書    b 承認試験	(可) 不可	(可) 不可	—
	溶接工の承認	a 資格証    b 技量確認試験	可 不可	可 不可	—
	溶接作業条件の承認	a 要領書	可 不可	可 不可	—
	開先形状、ルート間隔、 目違い、隙間	a 目視    b 溶接ゲージ c ( )    d ( )	可 不可	可 不可	—
	仮付け溶接、裏当て、エンドタブ	a 目視    b 溶接ゲージ c ( )    d ( )	可 不可	可 不可	—
溶接部の検査	a 外観検査 b 非破壊検査(超音波探傷試験、浸透検査探傷試験) その他( )	可 不可	可 不可	可 不可	
所見	工場製作について	現場製作について(内部欠陥検査の方法及び検査率は必ず記入)			

(注) 検査等を実施した時に不合格部分が存在した場合は、(不可)とし再検査年月日及び可否を記入する。

建築基準法第7条の4第3項の規定による  
中間検査合格証

大東市長 東坂 浩一様

第 NK14-0486 号  
平成 26 年 9 月 4 日

指定確認検査機関

株式会社日本確認検査センター

代表取締役 磯野 幸夫



下記による特定工程に係る工事は、建築基準法第7条の4第1項の規定による検査の結果、建築基準法第6条第1項(建築基準法第6条の3第1項の規定により、読み替えて適用される同法第6条第1項)の建築基準関係規定に適合していることを証明する。

記

- 1. 確認済証番号 第 NK14-0486 号
- 2. 確認済証交付年月日 平成26年7月24日
- 3. 確認済証交付者  
株式会社日本確認検査センター 代表取締役 磯野 幸夫
- 4. 建築場所  
大阪府大東市曙町400-1
- 5. 検査を行った建築物又はその部分の概要  
建築物の用途： 集会場(市民会館)  
工事種別： 増築  
構造種別： SRC造 一部 S造  
  
建築物の階数： 地上階数 5 階 地下階数 0 階  
申請棟数： 3 棟
- 6. 特定工程 基礎の配筋工事
- 7. 検査年月日 平成26年8月28日
- 8. 検査を行った確認検査員氏名 [Redacted]
- 9. 検査対象に関する特記事項

(注意) この証は、大切に保存しておいてください。

建築基準法第7条の4第2項の規定による  
中間検査引受証

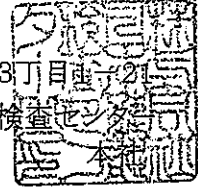
大東市長 東坂 浩一様

第 NK14-0486 号  
平成 26 年 8 月 21 日

指定確認検査機関

大阪府中央区北浜3丁目西子21

株式会社日本確認検査センター



下記による特定工程に係る工事について、建築基準法第7条の4第1項の規定による検査を引受けたことを証明します。

記

1. 確認済証番号

第 NK14-0486 号

2. 確認済証交付年月日

平成26年7月24日

3. 確認済証交付者

株式会社日本確認検査センター 代表取締役 磯野 幸夫

4. 特定工程

基礎の配筋工事

5. 特定工程工事終了(予定)年月日

平成26年8月26日

6. 検査引受年月日

平成26年8月21日

7. 建築場所、設置場所又は築造場所

大阪府大東市曙町400-1

# 中間検査結果報告書 第 1 回

(S・RC・SRC基礎・地中梁配筋) 一般建築物

検査員氏名		会社名: <b>(株)建研研</b>	会社名:	会社名: <b>富田建設(株)</b>	
		担当者: [Redacted]	担当者:	担当者: [Redacted]	
		TEL: 06-6454-1630	TEL:	TEL: 072-872-1348	
		FAX: 06-6454-1620	FAX:	FAX: 072-874-4024	
検査年月日	平成26年8月28日	確認済証番号	NK14-0486	確認済証交付年月日	平成26年7月24日
検査工程	基礎の配筋工事		<input type="checkbox"/> 適合	<input checked="" type="checkbox"/> 保留	
特定工程後の工事	<input type="checkbox"/> 工事続行可		<input checked="" type="checkbox"/> 工事続行不可		
検査項目		適合	指摘事項	資料提出	
書類	工事監理報告書	(✓)		✓	
集団規定	1 道路幅員・道路後退・外壁後退	✓			
	2 敷地形状(境界ポイント)・方位	✓			
	3 建物位置・GLの設定・平均地盤面の設置	✓			
	4 確認表示板	✓			
構造	1 地盤調査報告書	✓			
	2 杭施工計画書	✓			
	3 杭施工結果報告書(杭径・配筋・杭長・杭芯のズレ)			✓	
	4 杭施工写真			✓	
	5 コンクリート配合報告書・打設結果報告書	✓			
	6 コンクリート骨材試験結果報告書(7Mリ、シリカ反応試験含む)	—			
	7 鉄筋の規格証明書	✓			
	8 鉄筋の圧接(溶接)試験結果報告書・技能士の確認	✓			
	9 配筋状況(別紙参照)	✓			
	10				
指摘事項	・工事監理報告書(表紙、様式1、様式2、様式5、様式11)				
	・杭施工結果報告書、杭芯ズレ図、ミルシート、A-スパンのミルシート				
	・かさり厚さの写真、FG記号に付記を要する				
是正連絡日	国土交通省近畿地方整備局長指定確認検査機関 国土交通省近畿地方整備局長登録住宅性能評価機関 国土交通省近畿地方整備局長登録建築物調査機関 <b>株式会社 日本確認検査センター</b>			与日	行政報告日
連絡方法 (TEL/FAX)	<input type="checkbox"/> TEL	建築基準適合判定資格者 検査部長 [Redacted]		<input type="checkbox"/> TEL	<input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> TEL
連絡担当者					<input type="checkbox"/> FAX

# 基礎・地中梁チェックリスト

(基礎・地中梁配筋) 一般建築物

検査項目		適合	指摘事項	備考
基礎形状	1	基礎の形式 (杭・独立・べた・連続)	✓	
	2	基礎の形状寸法・レベルの適否	✓	
	3	杭偏芯による構造補強報告書	✓	(芯ずれ18程あり)
	4	地盤改良等	—	
基礎地中梁配筋	1	鉄筋の乱れ等の有無	✓	
	2	鉄筋の径・本数・間隔	✓	
	3	基礎接合部の補強・袴筋の径・本数	✓	
	4	鉄筋の被り、杭天端とベース筋の空き		✓
	5	継ぎ手の位置・形状	✓	
	6	中吊り筋の位置	✓	
	7	貫通孔の位置・補強方法	—	
柱脚部	1	主筋の径・本数・被り寸法確保	✓	
	2	フーチングへの定着の適否	✓	
	3	第一フープ (地中梁天端) の位置・補強筋	✓	
	4	S造のアンカーの設置状況	✓	
その他	1			
	2			
	3			
	4			
	5			



# 工事監理報告書

平成 年 月 日

株式会社 近畿確認検査センター  
代表取締役 磯野 幸夫 様

建築基準法及び関係法令に適合するように施工されたことを確認しましたので報告します。  
この報告書に記載の事項は事実に相違ありません。

工事監理者 株式会社 建綜研  
工事施工者 富田建設株式会社 富田泰富  
工事現場管理者 株式会社 建綜研



確認	平成 26年7月 24日 第 NK14-0486 号			
建築主 ( 築 造 主 )	大東市長 東坂浩一			
工事名称	市民会館2階大集会室増築他工事			
敷地の地名地番	大東市曙町400-1			
設計者資格 住所氏名	(1)級建築士(大臣)登録 第 [ ] 号 [ ] 大阪市北区大淀中1-8-5 (1)級建築士事務所 (大阪府)知事登録(チ)第8143号 株式会社建綜研 電話 06-6454-1630			
工事監理者 住所氏名	(1)級建築士(大臣)登録 第 [ ] 号 [ ] 大阪市北区大淀中1-8-5 (1)級建築士事務所 (大阪府)知事登録(チ)第8143号 株式会社建綜研 電話 06-6454-1630			
工事施工者 住所氏名	建設業の許可 大阪府知事(特-23)第3059号 大東市大野1-4-4 富田建設株式会社 富田泰富 電話 072-872-1349			
工事期間	平成 26年 7月 25日 ~ 平成 26年 11月 30日			
建築物  (工作物)  概要	工事種別	増築	用途 (工作物の種類)	集会場(市民会館)
	構造	SRC 一部 S	延べ面積	5642.923㎡
	階数	地上 地下 5階・0階	軒高 (工作物の高さ)	26.130 m
報告様式  (該当するものを○で囲む)	① 共通	7	シックハウス内装関係	
	② 基礎配筋	8	防火区画等関係	
	③ 木造・軸組工法	9	バリアフリー関係	
	④ 木造・枠組壁工法	10	詳細報告	
	⑤ 鉄筋コンクリート造	11	各種資料チェックリスト	
	⑥ 鉄骨造			



工事監理報告書(共通)

項目	月日	確認方法	結果	不具合箇所の処理状況	備考
確認の表示					
敷地の形状等	敷地境界等	7/10	B	適	
	すみ切り				
	擁壁設置の許認可の有無				
	道路との接続	7/10	A	適	
	道路境界線等	7/10	A	適	
配置等	敷地境界線と外壁の距離	7/10	B	適	
		7/10	B	適	
建物の高さ	設計GL及び現地設計GL	7/15	B	適	
		7/15	B	適	
	建物の高さ(斜線制限)				
造主要部等	耐火、防火性能 その他				
内装	仕上材の種類 仕上げの状況				
開口部	寸法、形状 建具の種類				
建築設備	自然換気設備				
	給排水設備				
	電気設備				
備考	1 月日欄には、項目の確認を実施した月日を記入する。 2 確認方法欄には、「立会目視」(A)、「立会採寸」(B)、「施工報告」(C)、「写真」(D)、「その他」(E)のいずれかの方法を記入する。 3 結果欄には、「適」、「不適」を記入する。				

【各種材料試験及び検査結果一覧】

材料	試験項目	部位	サンプル数	試験又は検査実施者	結果	備考
コンクリート	骨材試験	基礎		稲田巳建材	適	塩分、粘土塊量、洗いアルカリ反応
	コンクリートの配合	〃		稲田巳建材	適	配合報告書
	コンクリートの圧縮強度(1週)					
	コンクリートの圧縮強度(4週)					現場水中養生
	コンクリートの施工	基礎			富田建設	適
鉄筋	強度試験	基礎		岸和田製鋼・中山鋼業	適	ミルシート等
	施工	〃		富田建設	適	
	圧接部強度試験					
	溶接又は圧接部の内部欠陥検査	基礎・梁	3	日本建築総合センター	別紙	適

※部位(各工程)ごとに作成すること。ただし、記入できない場合は別途作成してください。

工事監理報告書(鉄骨造)

項目	確認事項	月日	確認方法	結果	不具合部分の処理方法	備考
柱脚部	(1) アンカーボルトの径、本数、位置 歪み、ナット締め付け	8/25	目視	適		基礎
	(2) ベースプレートの据え付け	8/25	目視	適		〃
	(3) 根巻鉄筋	8/25	B	適		〃
	(4) コンクリート投入孔	8/25	B	適		〃
	(5) 認定柱脚	8/25	B	適		〃
接合部	(1) 継手部の状況 ・ボルトの径、本数、余長 ・継手の位置、形状 ・密着状態					
	(2) パネルゾーンの状況					
	(3) 小梁、片持梁、階段部等					
鉄骨	(1) 各部材の形状、寸法 〃 配置 〃 材質					
	(2) 溶接欠陥の有無					
	(3) カバープレート、ブレース等の取付け スカラップの有無					
	(4) スリーブの位置 〃 大きさ 〃 補強					
床版	(1) 床の仕様					
	(2) 床ブレース:材質、寸法等の確認					
	(3) デッキプレート床方向 焼き抜きせん溶接の状態 配筋状況、方向確認					
	(4) 大臣認定床					
	(5) スタッドボルト:寸法、ピッチの確認					
備考	1. 月日欄には、項目の確認を実施した月日を記入する。 2. 確認方法欄には、「立会目視」(A)、「立会採寸」(B)、「施工報告」(C)、「写真」(D)、「その他」(E)のいずれかの方法を記入する。 3. 結果欄には、「適」、「不適」を記入する。					

試験・検査項目	部位	サンプル数	試験又は検査実施者	結果	備考
鋼材強度試験	基礎		中山鋼業	適	
ボルト類等強度試験					
溶接部強度試験					
溶接部非破壊検査					

工事監理報告書(詳細報告)

月/日	天気 最低気温	報告事項	報告事項詳細	資料 No.	写真 No.
8/28	曇	(増築棟) 基礎・地中梁リスト 表記誤り	1、中間検査で指摘、受ける ・基礎・地中梁リストでFG1が2カ所あり、FG3の誤り ・図面 (変更前・後)		
8/29	晴	(改修棟) 梁伏図の変更	1、新規屋根受梁 HCG1 取付において、現地のダイヤフラム一部 欠損があり、受梁を変更 資料 - 検討書、(変更前・後)図面、写真		

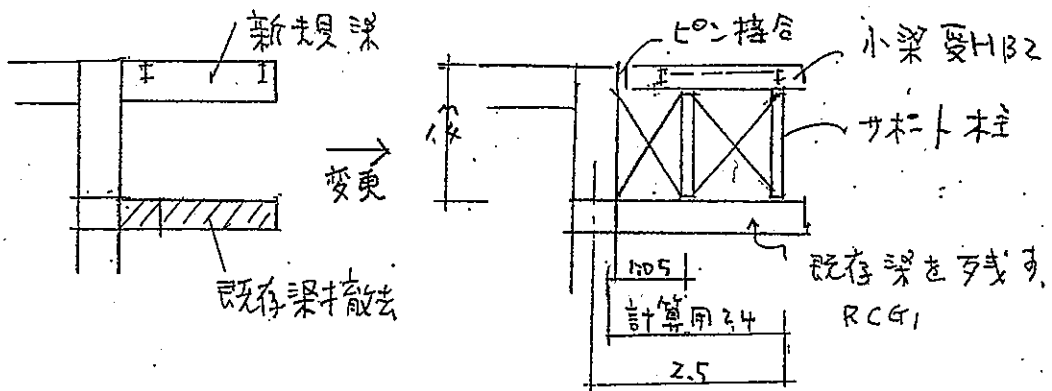


様式1から様式9に記載できない事項について記載して下さい。

屋根取合部分の検討

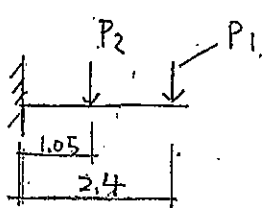
確認申請書 構造計算書 P12 の変更検討

現況の外ゲヤワラ4の状況より、現場溶接が  
あつかいなので、下記に変更する。



■ 既存 RCG1 の安全性の検討

RCG1 H-390 x 300 x 10 x 16,  $l=2.0$  を超えるので、応力を 1.33 倍にて検討。



$P_1 = 69.6 \text{ KN}$

$P_2 = 1.6 \times 2.375 \times 8.0 = 30.4 \text{ KN}$

$M_E = (1.05 \times 30.4 \times 69.6 \times 2.4) \times 1.33 = 265.3 \text{ KN}\cdot\text{m}$

$Q_E = (30.4 + 69.6) \times 1.33 = 133.4 \text{ KN}$

$\sigma = \frac{26530}{15.6 \times 1940} = 0.88 < 1.0$

$\delta = \left( \frac{30.4 \times 105^3}{3EI} + \frac{69.6 \times 240^3}{3EI} \right) \times 1.33 = 0.55 \times \frac{1}{4.36} \text{ OK}$   
( $I=37,900 \text{ cm}^4$ )

サボト柱 P1  $N = 69.6 \text{ KN}$ , H-100 x 100 x 6 x 8  $l_{R} = 110$

$\lambda = 45$   $\lambda_c = 13.9$

$\sigma = \frac{69.6}{13.9 \times 21.59} = 0.23 < 1.0$

9.12-9 2-M20

振止x 1-M12 4.12-6x60

HB2A H-300 x 150 x 6.5 x 9 (屋根受小梁 HB2 受材)

変更内容について

現地のダイヤワラ4の状況より、上記としたが、荷重は軽くなっている。  
 $l=2.0$  を超える検討も満足する。各担当課と協議の上、  
上記に変更した。

構造担当者